

SHARP[®]

AQUOS ケータイ
SH-N01

取扱説明書

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド (本体付属品)

基本的な機能の操作について説明しています。

取扱説明書 (本書)

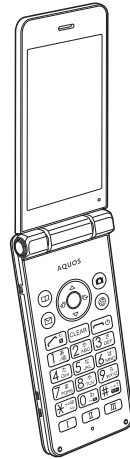
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
次のサイトでダウンロード

[http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shn01/
manual/index.htm](http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shn01/manual/index.htm)

※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に記載しているキーは、実際のデザインとは異なります。
- 本書では、主に本体色「White」の場合で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SH-N01」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



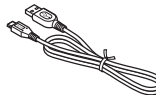
SH-N01本体 (保証書付き)



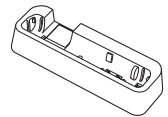
電池パック*



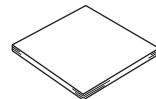
ACアダプター



microUSBケーブル



卓上ホルダ



クイックスタートガイド

※ お買い上げ時は、本体に取り付けられていません。本端末を使用する前に、必ず本体に取り付けてください (P.22 「電池パック」)。

目次

本端末のご利用について	2
安全上のご注意（必ずお守りください）	3
取り扱い上のご注意	8
防水／防塵／耐衝撃性能	11

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	14
基本操作	15
nanoSIMカード	20
電池パック	22
充電	22
電源を入れる／切る	24
文字入力	24
初期設定	27

電話

電話をかける	31
電話を受ける	33
通話中の操作	33
発信履歴／着信履歴	34
簡易留守録・音声メモ	34
プレフィックス設定	35
通話設定	35
電話帳	35

メール／ウェブブラウザ

SMS	37
PCメール	38
ウェブブラウザ	39

カメラ

カメラをご利用になる前に	41
静止画の撮影	42
動画の撮影	43
バーコードリーダー	44

ツール／アプリ

歩数計	45
アラーム	45
カレンダー	47
メモ帳	47
電卓	47
PASSNOW	48
データ引継	50
ウィジェットシート	51
ミュージック	51
家族あんしん通知	52

本体設定

設定メニュー	53
壁紙・ディスプレイ	53
音・バイブ	54
セキュリティ	54
省エネ・電池	56
ネットワーク	57
位置情報	58

その他	59
オールリセット	60

データ管理

本体メモリ（内部ストレージ）	61
microSDカード（外部ストレージ）	61
ファイル操作	63
パソコンとの接続	64

データ通信

赤外線通信	65
Bluetooth®通信	66

付録／索引

メニュー一覧	68
トラブルシューティング（FAQ）	70
保証とアフターサービス	72
ソフトウェア更新	73
主な仕様	74
携帯電話機の比吸収率（SAR）について	75
輸出管理規制	76
知的財産権について	76
索引	78



本端末のご利用について


- 本端末は、日本国内での使用を前提に作られています。海外でのご使用につきましては、お客様の責任にて行っていただきますよう、お願いいたします。渡航先の国／地域の法令などに抵触する場合がありますので、よくご確認の上ご使用ください。
- 本端末はLTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、携帯電話サービスエリア外ではご使用できません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳、カレンダー、メモ帳、音声メモ・簡易留守録など）は、定期的にメモをとったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- お客様の電話番号（自局番号）は、待受画面で●▶【プロフィール】で確認できます。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi接続であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（[P.73](#) 「ソフトウェア更新」）。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては[P.60](#) 「端末情報」
- 紛失に備え、画面のロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（[P.54](#) 「セキュリティ」）。
- 万が一紛失した場合は、SNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンなどより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。

- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- テザリングのご利用には、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用前の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）」を負う可能性が想定される」内容です。

 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）」を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。
--	---

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。










 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の7項目に分けて説明しています。


- 本端末、電池パック、ACアダプター、microUSBケーブル、卓上ホルダ、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）..... P.3
- 本端末の取り扱いについて..... P.4
- 電池パックの取り扱いについて..... P.5
- ACアダプター、microUSBケーブル、卓上ホルダの取り扱いについて..... P.6
- nanoSIMカードの取り扱いについて..... P.7
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて..... P.7
- 材質一覧..... P.7


本端末、電池パック、ACアダプター、microUSBケーブル、卓上ホルダ、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）


危険


-  **指示**
本端末には、必ず付属のACアダプター・microUSBケーブルをご使用ください。
指定以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や、ACアダプター・microUSBケーブルの発熱、発火、故障などの原因となります。
-  **禁止**
高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  **禁止**
電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  **禁止**
砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水/防塵性能については以下をご参照ください。
☞ P.11 「防水/防塵/耐衝撃性能」
-  **禁止**
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞ P.11 「防水/防塵/耐衝撃性能」
-  **禁止**
本端末にmicroUSBケーブルをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させるなどの原因となります。また外部接続端子を破損、焼損させる原因となります。
-  **分解禁止**
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  **水濡れ禁止**
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞ P.11 「防水/防塵/耐衝撃性能」
-  **水濡れ禁止**
充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞ P.11 「防水/防塵/耐衝撃性能」


警告


 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電、故障、破損などの原因となります。

 充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったたりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。


 指示 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。


 指示 ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。


 指示 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
●電源プラグをコンセントから抜く。
●本端末の電源を切る。
●電池パックを本端末から取り外す。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


注意


 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けが、故障、破損などの原因となります。

 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
【P.11「防水／防塵／耐衝撃性能」】

 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

 本端末からmicroUSBケーブルを取り外す際は、コードを引っ張らず、microUSBケーブルのmicroUSBプラグを持って取り外してください。
コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末や電池パック、ACアダプター・microUSBケーブルの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によって肌肌赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。



禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のnanoSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかり握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。運転中は使用しないでください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用を止め、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所材質については以下をご参照ください。

【表紙P.7「材質一覧」】



指示

本端末を閉閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。

けがなどの原因となります。



指示

本端末の受話口／スピーカー部、カメラ部に磁気発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠️ 危険



禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒を持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確認してください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。






指示




電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

警告







-  禁止 異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  指示 電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
-  指示 ベットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。








注意


-  禁止 電池パック内部の物質などが濡れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診察を受けてください。
-  禁止 不要になった本端末を一般のゴミと一緒に捨てないでください。「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。適切に処理いたします。
-  禁止 濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


ACアダプター、microUSBケーブル、卓上ホルダの取り扱いについて


警告

-  禁止 microUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 ACアダプター・microUSBケーブルや卓上ホルダは、風呂場などの湿気が多い場所では使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 雷が鳴り出したら、ACアダプター・microUSBケーブルには触れないでください。感電などの原因となります。
-  禁止 コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 microUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
-  禁止 コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。


-  禁止 ACアダプターに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。
-  禁止 本端末にACアダプターとmicroUSBケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  濡れ手禁止 濡れた手でACアダプター・microUSBケーブルのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指示 プラグにほこりがついたときは、ACアダプターを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指示 ACアダプターをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指示 本端末にmicroUSBケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  指示 充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

-  電源プラグを抜く 使用しない場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

-  電源プラグを抜く 水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、やけど、感電などの原因となります。

-  電源プラグを抜く お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意

-  禁止 コンセントにつないだ状態でACアダプター・microUSBケーブルに長時間触れないでください。やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠️ 注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠️ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 端末

使用箇所	材質/表面処理
外装（ディスプレイ面）	アクリル樹脂+PC樹脂/ハードコート
外装（ディスプレイ背面）	アクリル樹脂/ハードコート
外装（ディスプレイ面の側面）	PA樹脂（ガラス入り）/塗装、ハードコート
外装（キー面）	UV硬化樹脂
外装（キー面の側面）	PA樹脂（ガラス入り）/塗装、ハードコート
外装（ヒンジ部）	上側：PA樹脂（ガラス入り）/塗装、ハードコート 下側：PC樹脂+ABS樹脂/塗装、ハードコート
外装（ヒンジ部の側面）	PC樹脂+ABS樹脂/塗装、ハードコート
外装（アンテナ部）	PC樹脂+ABS樹脂（ガラス入り）/金メッキ+塗装
外装（ネジ）	SUS
外装（電池収納面シール）	PET樹脂
外装（電池収納面金属部）	洋白
カメラパネル	アクリル樹脂/ハードコート
操作キー（節りを含む）	UV硬化樹脂

使用箇所	材質/表面処理
サイドキー	PC樹脂/塗装、ハードコート
クイックオープンボタン（樹脂部）	PC樹脂
クイックオープンボタン（金属部）	アルミニウム/アルマイト処理
充電端子	SUS/金メッキ
外部接続端子（樹脂部）	PA樹脂
外部接続端子（金属部）	SUS+銅合金/錫メッキ、金メッキ
赤外線ポート	アクリル樹脂
microSDカードスロットカバー	SUS
microSDカードスロット（金属部）	銅合金/金メッキ
microSDカードスロット（樹脂部）	LCP樹脂
nanoSIMカードスロットカバー	SUS
nanoSIMカードスロット（金属部）	銅合金/金メッキ
nanoSIMカードスロット（樹脂部）	LCP樹脂
電池端子（コネクタ本体）	PA4T
電池端子	銅合金/金メッキ
当たりカバー	UV硬化樹脂
外装（電池収納部）	PA樹脂（ガラス入り）
リアカバー本体（パッキン含む）	PC樹脂（ガラス入り）+シリコンゴム/塗装、ハードコート、印刷

■ 電池パック

使用箇所	材質/表面処理
電池パック本体	PC樹脂
端子部	銅合金/金メッキ
水濡れシール	上質紙/PET樹脂
ラベル	PET樹脂/マットニス印刷

■ ACアダプター

使用箇所	材質/表面処理
ACアダプターケース	PC樹脂
ACアダプター電源プラグ部樹脂	PBT樹脂
ACアダプター電源プラグ	真鍮/Niメッキ
USBコネクタの金属シェル	真鍮/Niメッキ
USBコネクタの樹脂部分	PBT樹脂

■ microUSBケーブル

使用箇所	材質/表面処理
USBプラグ	熱可塑性エラストマー
USBプラグの金属部	銅板/Niメッキ、PBT樹脂
コード部	熱可塑性エラストマー
microUSB	熱可塑性エラストマー
microUSBプラグの金属部	ステンレス/Niメッキ、液晶ポリマー

■ 卓上ホルダ

使用箇所	材質／表面处理
卓上ホルダ本体（上ケース／下ケース）	ABS樹脂
取り付けラベル	ポリエステル樹脂／印刷+PET樹脂
端子レバー	POM樹脂
ロックレバー	POM樹脂
充電端子	銅合金／金メッキ
接続端子の金属部	SUS+銅合金／錫メッキ、金メッキ
ネジ	鉄／メッキ
ゴム足	ウレタン樹脂
製造ロットラベル	紙／印刷+PET樹脂

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-N01は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
電池パック、ACアダプター、microUSBケーブル、卓上ホルダ、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

本端末についてのごお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様が自身で本端末に登録された情報内容は、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールやラベルなどを貼らないでください。
本端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、本端末の電源を切らないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。
- 不要になった本端末は、家庭ゴミとして捨てず、各自治体の定めるリサイクル回収拠点へお持ち下さい。

電池パックについてのごお願い

- 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
別売品については次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shn01/index.html>
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
本端末が電池パックの膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

- 電池パックを保管される場合は、次の点にご確認ください。

- ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- ・電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

- ・リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのリチウムイオン電池の廃棄の際は、リサイクルにご協力ください。
- ・ご使用済みのリチウムイオン電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています」のステッカーを貼った、シャープ製品取り扱いのお店にご持参ください。

- リサイクルの際は、次の点にご確認ください。

- ・ショートしないように端子部にテープを貼る。
- ・電池パックを分解しない。

ACアダプター、microUSBケーブルについて のお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプターやmicroUSBケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。

nanoSIMカードについて のお願い

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しなくても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
Bluetooth機能が利用する周波数帯は、待受画面で◎▶【設定】▶【その他】▶【端末情報】▶【認証】で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth機器使用上の注意事項

- 本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります (特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、待受画面で◎▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [認証] で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ■■■■■■■■■■ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャネルは1~13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

- WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など (例えば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
 3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の銘板シールに表示しております。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術適合マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。待受画面で◎▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [認証] 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能

SH-N01は、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件下であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSH-N01を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。
- ※4 MIL規格準拠
米国国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7 : Shock-ProcedureIVに準拠した規格において、高さ1.22mから合板（ラワン材）に製品を26方向で落下させる試験を実施しています。
 - すべての衝撃に対して保証するものではありません。日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

SH-N01が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（6リットル/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（※P.12「水に濡れたときの水抜きについて」）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご利用にあたって

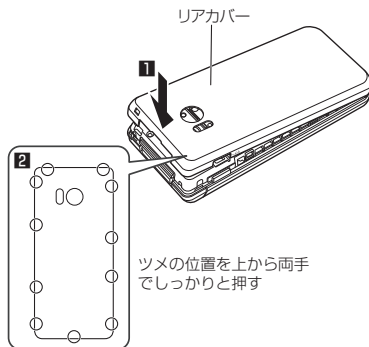
防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、リアカバーはしっかりと閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し(1)、○部分をしっかりと押す(2)

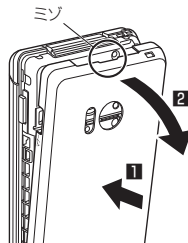
- リアカバーの裏側に、11箇所に取り付け用のツメが付いています。本端末とリアカバーにすき間が生じないように、ツメの位置を上から両手でしっかりと押し付けてください。



リアカバーの取り外しかた

1 リアカバーの中央部を押さえながら(1)、リアカバーのミゾに指先をかけ、取り外す(2)

- リアカバーはしっかりと閉じる構造となっております。取り外しにくい場合は、本体とリアカバーのすき間に指先をかけてリアカバーを持ち上げ、すき間を広げながら取り外してください。



- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末を預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け/取り外しはしないでください。
- リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態で「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡ください。
- リアカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水/防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡ください。
- リアカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に液体や粉塵が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水中で端末を使用(開閉、キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6リットル/分を超える)を直接当てないでください。SH-N01はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃~35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂/泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水/防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口/マイク、受話口/スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口/マイク、受話口/スピーカー、空気穴、外部接続端子などを尖ったものでつつかないでください。

- 付属品、オプション品は防水/防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダに端末を差し込んだ状態の場合、ACアダプター、microUSBケーブルを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん/
洗剤/入浴剤



海水



プール



温泉



砂/泥

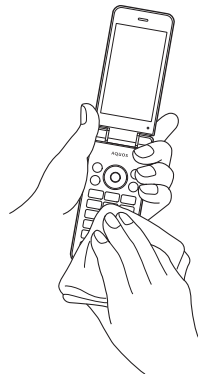
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

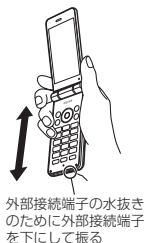
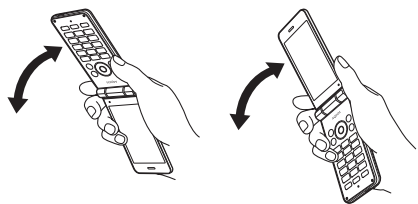
端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

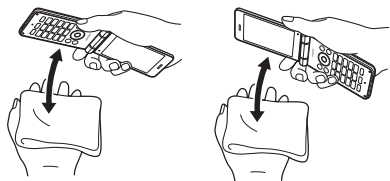


2 端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



3 送話口／マイク、受話口／スピーカー、キー、空気穴、ヒンジ部、外部接続端子、ストラップ取り付け口などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらくなりますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、しばらく自然乾燥させてから、卓上ホルダに差し込んでください。

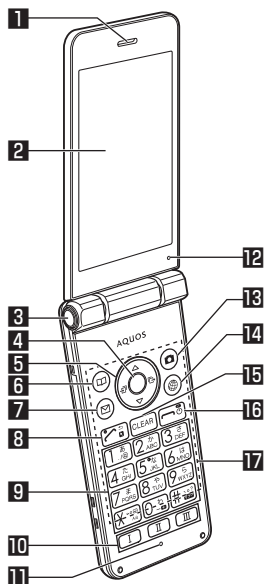
警告

端末が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプター、microUSBケーブルは防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプター、microUSBケーブル、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプター、microUSBケーブル、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



1 受話口／スピーカー

- 通話中の相手の声や、着信音や音楽、ハンズフリー通話中の相手の声などが聞こえます。
- 本製品は受話口とスピーカーを兼用しています。通話中のスピーカーホン切替後もしくは通話終了後に、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。

2 ディスプレイ

3 クイックオープンボタン

- ボタンを押すと端末を開くことができます。

4 決定キー

- 項目を選択／決定します。
- 待受画面で押すと、メニューを表示します。

5 方向キー

- カーソルを移動して項目を選びます。
- 操作の説明では、、、と表記する場合があります。
- 待受画面で次のキーを押すと以下の機能を起動できます。
 - ：着信履歴一覧画面の表示
 - ：発信履歴一覧画面の表示
 - ：フォーカスモードの利用

6 電話帳キー

- 電話帳の表示や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。

7 メールキー

- メールの起動や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。

8 発信キー

- 電話をかけたり、受けたりします。
- 待受画面で押すと、電話番号入力画面を表示します。
- 対応する機能やアプリを起動中に1秒以上押しすと、タッチクルーザーEXの有効／無効を切り替えます。

9 ①～⑨、✕、0、☎：ダイヤルキー

- 電話番号や文字を入力します。
- ノーマルメニューの場合は、メニューの項目番号 (, , など) に対応するダイヤルキーを押すと機能やアプリを選択できます。
- 待受画面で0キーを1秒以上押しすと、「+」を入力できます。
- 待受画面で☎キーを1秒以上押しすと、マナーモードを設定／解除できます (☞P.54「マナーモード設定」)。

10 ① ② ③：クイック起動キー

- クイック起動キーについては☞P.30「クイック起動キーの利用」

11 送話口／マイク

- 通話中に自分の声を伝えたり、音声の録音時に使用したりします。

12 空気穴

- 端末内の余分な空気を抜くための穴です。

13 ④：カメラキー

- カメラの起動や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。

14 ⑤：ブラウザキー

- Webメニューの表示や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。

15 ⑥：クリアキー

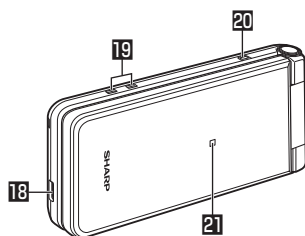
- 入力した文字や番号を削除したり、1つ前の画面に戻します。

16 ⑦：電源／終了キー

- 2秒以上押しして電源を入れます (☞P.24「電源を入れる／切る」)。
- 1秒以上押しして電源を切る／再起動の操作 (☞P.24「電源を入れる／切る」)、機内モード (☞P.57「機内モード」) やマナーモードの設定／解除 (☞P.54「マナーモード設定」) を行います。
- 起動中の機能を終了して待受画面を表示します。

17 タッチエリア (タッチクルーザーEX)

- タッチエリア (タッチクルーザーEX) については☞P.19「タッチクルーザーEXの利用」



18 外部接続端子

- 充電時やイヤホンマイク、パソコンなどの接続時に使用します。

19 充電端子

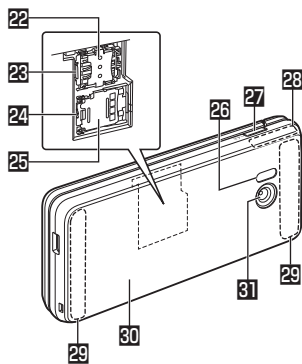
- 付属の卓上ホルダで充電するときに使用します。

20 ストラップ取り付け口

- ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを取り外してから (☞P.11「リアカバーの取り外しかた」)、ストラップ取り付け口にストラップを通し、中のフックにストラップを掛けてリアカバーを取り付けてください (☞P.11「リアカバーの取り付けかた」)。

21 着信／充電ランプ

- 着信中や充電中などに点灯／点滅してお知らせします。



- 22 nanoSIMカードスロットカバー
- 23 nanoSIMカードスロット
- 24 microSDカードスロット
- 25 microSDカードスロットカバー
- 26 赤外線ポート

- 赤外線通信を利用するときには使用します。

27 **：**サイドキー

- 最近使用したアプリの履歴を表示します（※P.29「アプリ使用履歴の利用」）。
- 端末を閉じた状態で1秒以上押しすと、マナーモードの設定／解除を行います。設定する場合は、直前に設定していたマナーモードに切り替えます。

28 GPS／Bluetooth／Wi-Fiアンテナ※

29 内蔵アンテナ※

30 リアカバー

31 カメラ

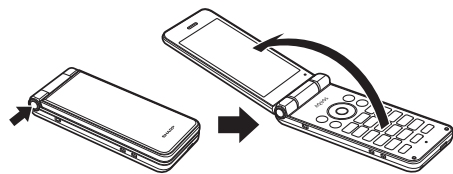
- 静止画や動画を撮影するときには使用します。

※アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

クイックオープンボタン

ボタンを押すと端末を開くことができます。

- ボタンを使用しないで、開くこともできます。



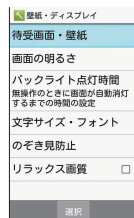
- 端末を手にとって操作してください。端末を開くときに自分の顔、人や物などの近くで端末を開かないでください。また、開くときの反動で端末を落としたりしないようにご注意ください。
- 端末の向きによっては、クイックオープンボタンを押しても完全に開かない場合があります。
- 端末を閉じるときは手で閉じてください。閉じられない場合は、端末を完全に開いた状態にしてから、もう一度閉じてください。

基本操作

項目の選択やメニューの操作、ディスプレイやアイコンの見かたなど、端末の操作について説明します。

項目の選択（カーソルの合わせかた）

☒項目にカーソルを合わせて○を押すと選択できます。カーソルを合わせている項目には枠が表示されたり、色が変わったりします。



- 操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表記	意味
待受画面で○▶▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ]	待受画面で○を押す▶☒で [設定] にカーソルを合わせて○を押す▶▶で [壁紙・ディスプレイ] にカーソルを合わせて○を押す

- 項目を選択／入力して○を押す操作において、本書では最後に○を押す操作を省略しています。

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。

メニューの操作

待受画面で \odot を押すとノーマルメニュー／シンプルメニューが表示され、機能の設定や変更、アプリの起動を行うことができます。

- メニューについてはP.68「メニュー一覧」
- \odot で選択するか、ノーマルメニューの場合はメニューの項目番号（1、2、3など）に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- \square を押すと1つ前の画面に戻ります。
- \square を押すと待受画面に戻ります。

メニュー画面の切替

メニュー画面をノーマルメニュー／シンプルメニューに切り替えます。

1 待受画面で \odot ▶ \square ▶[はい]

2 [はい]／[いいえ]

- 文字サイズの確認画面が表示された場合は選択してください。



ノーマルメニュー

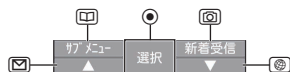


シンプルメニュー

操作ガイダンスについて

操作ガイダンスには、機能キー（ \square 、 \square 、 \square 、 \square ）や決定キー（ \odot ）を押して操作できるメニューや機能が表示されます。

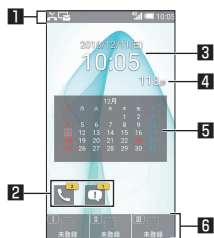
- 表示される内容は画面によって異なります。



- 主に表示されるメニューや機能は次のとおりです。
 - 決定：選択した項目を決定
 - サブメニュー：サブメニュー（使用できる機能）を表示
 - 戻る：1つ前の画面に戻る
 - 閉じる：サブメニュー画面などを閉じる
 - 全選択／全解除：選択できる項目のすべてを選択／解除
 - 表示：選択した画像などを表示
 - 再生／停止：動画や音楽などを再生／停止
 - 全画面：選択した画像などをディスプレイいっぱいに表示
 - 送信：メールやSMSを送信
 - ▲ページ／▼ページ、▲／▼、↑／↓：ページ単位でスクロール表示
 - 新規作成：メモやスケジュール、SMSなどを新規作成
 - 設定：設定項目を表示

待受画面の見かた

待受画面では、現在の状態（ステータス）や新着情報などを確認できます。



1 ステータスバー

- 端末の状態やお知らせなどのさまざまな情報が表示されます。

2 通知アイコン

- 不在着信や新着メールなどのお知らせがあると表示されます。

3 時計

4 歩数計

- 歩数計の表示を有効にすると表示されます。
待受画面で \odot ▶[設定]▶[壁紙・ディスプレイ]▶[待受画面・壁紙]▶[歩数計]で設定できます。

5 カレンダー

- カレンダーの表示を設定すると表示されます。
待受画面で \odot ▶[設定]▶[壁紙・ディスプレイ]▶[待受画面・壁紙]▶[カレンダー表示]▶[カレンダーの種類]で設定できます。

6 クイック起動キー

インフォメーションの利用

かかってきた電話に出られなかったときや新着の通知があるときなどに、待受画面にインフォメーションを表示してお知らせします。



1 通知を選択

- \square ／ \square ／ \square を押すと待受画面に戻ります。

フォーカスモードの利用

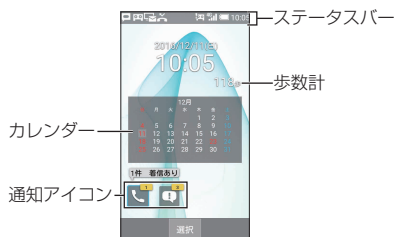
待受画面に表示されているステータスバーやカレンダー、歩数計、通知アイコンを選択すると、対応するアプリの起動や情報の確認などができます。

1 待受画面で \odot

- フォーカスモードになります。

2 ステータスバー／カレンダー／歩数計／通知アイコンを選ぶ

- フォーカスモードの解除： /
- フォーカスモード中は、 / / / / を押ししてもメニューの表示や機能の起動ができません。



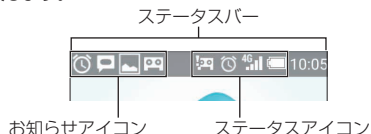
■ 通知アイコンからお知らせ内容を確認

かかってきた電話に出られなかったときや新着の通知があるときなどに、待受画面に通知アイコンを表示してお知らせします。

- 主な通知アイコンと、選択した場合の動作は次のとおりです。
 - （不在着信）：着信履歴一覧画面が表示されます。
 - （通知情報）：ステータスパネルが表示されます。
- 通知アイコンは、内容を確認すると消えます。

■ ステータスバーについて

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン：簡易留守録やSMSなどの通知を表します。
 - ステータスアイコン：電池残量や電波状態などの端末の状態を表します。



■ 主なお知らせアイコン一覧

- ：新着SMSあり
- ：メッセージの送信失敗
- ：新着PCメールあり
- ：エラー表示
 - 何らかのエラーが発生したときに表示されます。
- ：データ通信が無効
 - データ通信の制限を超えた場合に表示されます。
- ：アラーム鳴動中／スヌーズ中
- ：カレンダーの予定通知あり
- ：ミュージックで音楽再生中

通話表示

- ：着信中／通話中／発信中
- ：不在着信あり
- ：簡易留守録あり

microSDカード表示

- ：microSDカード準備中
- ：マウントを解除したとき
- ：本体メモリの空き容量低下
- ：Bluetooth通信のデータ受信要求あり
- ：USB接続（カードリーダーモード接続時）

データ送受信表示

- ：送信表示
- ：受信表示
- ：長エネスイッチの設定要求あり
- ：スクリーンショットで画像を保存
- ：タッチクルーザーEXが有効
- ：タッチクルーザーEXが無効
- ：位置情報測定中
- ：VPN接続
- ：ソフトウェア更新あり
- ：表示されていないお知らせアイコンあり

■ 主なステータスアイコン一覧

電池残量表示

- ：約100%～約16%
- ：約15%以下
- ：約5%以下
- 充電中は電池マークに が重なって表示されます。

電波状態表示

- ：レベル4
- ：レベル3
- ：レベル2
- ：レベル1
- ：レベル0
- ：圏外

3Gデータ通信状態表示

- ：3G使用可能
- ：3Gデータ受信中
- ：3Gデータ送信中
- ：3Gデータ送受信中

4G (LTE) データ通信状態表示

- ：4G (LTE) 使用可能
- ：4G (LTE) データ受信中
- ：4G (LTE) データ送信中
- ：4G (LTE) データ送受信中

HSPAデータ通信状態表示

- ：HSPA使用可能
- ：HSPAデータ受信中
- ：HSPAデータ送信中
- ：HSPAデータ送受信中

文字入力モード表示

- ：ひらがな漢字
- ：半角英字
- ：半角数字
- ：半角カタカナ
- ：全角英字
- ：全角数字
- ：全角カタカナ
- ：区点コード

マナーモード表示

- ：通常マナー
- ：ドライブマナー
- ：サイレントマナー
- ：電話着信音量を [サイレント] に設定中
- ：ハンズフリーで通話中
- ：ミュートに設定中
- ：アラーム設定中

Bluetooth機能表示

- ：待機中
- ：接続中

Wi-Fi電波状態表示

- Wi-Fi電波状態表示アイコン
- レベル4
- レベル3
- レベル2
- レベル1
- レベル0

● インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、[Wi-Fi]のようにWi-Fi電波状態表示に[!]が重なって表示されます。

簡易留守録表示

- 簡易留守録設定中で簡易留守録が0件
- 簡易留守録設定中で簡易留守録が1～29件
- 簡易留守録設定中で簡易留守録が30件

ステータスパネルの利用

お知らせアイコンやステータスアイコンの詳細情報を確認したり、対応する機能やアプリを起動できます。

1 待受画面で[ステータスバー]を選ぶ

2 ステータスパネルを利用する

- ステータスパネルを閉じる：[閉じる] / [戻る]



1 通信事業者名

2 通知詳細情報

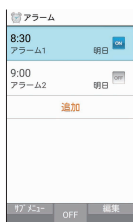
- お知らせアイコンを選択すると、対応する機能やアプリを起動して確認することができます。
 - [通知]を押して、[通知1件消去]が表示された場合は、通知情報を消去できます。[通知全件消去]を選択すると、通知情報をすべて消去できます。
 - 通知情報によっては、消去できない場合があります。
 - お知らせアイコンを選択中に[返信]を押すと、返信や共有などの操作ができるものもあります。
- ステータスアイコンを選択すると、設定の確認や変更をすることができます。

設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、項目にカーソルを合わせて[設定]を押すと設定の有効/無効や、[ON] / [OFF] を切り替えることができます。

- [✓] は有効、[] は無効の状態です。
- 操作ガイダンスに[全選択] / [全解除]が表示されているときは、該当する機能キーを押すとすべての項目を選択/解除できます。

■ 例：全般画面、アラーム画面



着信/充電ランプ

- 着信中や充電中などに着信/充電ランプを点灯/点滅してお知らせします。
 - 赤色点灯：充電中（電池残量約94%以下）
 - 緑色点灯：充電中（電池残量約95%以上）
 - 緑色点滅：着信中/不在着信あり
 - 白色点滅：新着PCメール/新着SMSなどの通知あり
 - 水色点滅：アラーム鳴動中

● ディスプレイが表示されている場合は、不在着信、新着PCメール/新着SMSなどの通知をお知らせする着信ランプは点滅しません。お知らせアイコンや通知アイコンで確認してください。お知らせアイコンや通知アイコンが表示されないときは、表示される画面で確認してください。

スクリーンショットの撮影

[ホーム]と[電源]を1秒以上押し、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、データフォルダの「画像」で確認することができます。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

拡大鏡の利用

画面の一部を大きく表示できます。

- あらかじめクイック起動キーに[拡大鏡]を登録しておいてください（P.30「クイック起動キーの利用」）。

1 拡大鏡を登録した[ホーム] / [電源] / [クイック起動] タッチエリアを指でなぞって拡大鏡を移動

- 長押しに登録した場合は[ホーム] / [電源] / [クイック起動]を1秒以上押しします。
- 拡大鏡の操作説明画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- 拡大鏡を終了するには、[ホーム] / [電源] / [クイック起動]を押します（長押しに登録した場合は、1秒以上押しします）。

- 待受画面の表示中やアプリによっては利用できない場合があります。

プロフィール

nanoSIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- お買い上げ時は、取り付けたnanoSIMカードに登録されている電話番号のみが表示されます。

1 待受画面で[プロフィール]を選ぶ

2 プロフィールを確認/利用する



1 姓名/ふりがな

- 名前を登録すると表示されます。

2 自局電話番号

3 画像


■ プロフィールの編集／利用

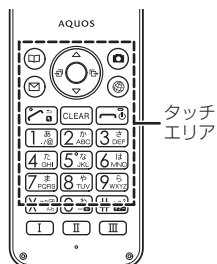
1 待受画面で◀▶[プロフィール]

2 [設定]▶各項目を設定▶[設定]

- 設定できる各項目についてはP.35「電話帳の登録」
- プロフィールを送信：[設定]▶[送信]▶送信方法を選ぶ▶画面の指示に従って操作

■ タッチクルーザーEXの利用

カメラ、ブラウザ、データフォルダなどを操作するときに端末のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます。タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動しているときにタッチクルーザーEXを有効にすると、画面に表示される[]（ポインタ）で操作できるようになります。





- タッチクルーザーEXの操作説明画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- [設定]を1秒以上押すごとにタッチクルーザーEXの有効／無効を切り替えます。
- タッチクルーザーEXが無効になると、タッチクルーザーEXの自動起動に対応した機能／アプリ（ブラウザ）を起動してもタッチクルーザーEXは有効になりません。
- タッチクルーザーEXが有効の場合でも、キー操作は可能です（一部のアプリを除く）。

■ タッチエリア利用時のご注意

- タッチエリアは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - シールなどを貼ったままでの操作
 - タッチエリアが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作



■ タップ／ダブルタップ



タッチエリアに軽く触れて指を離すと、[] が重なっている項目やアイコンなどを選択します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- 静止画表示中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小できます。拡大／縮小の操作は画面に表示されている[] を起點に行います。





■ ロングタッチ

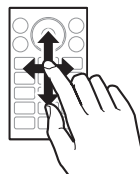
タッチエリアに指を軽く触れたままにすると、[] が [] に切り替わります。利用中の機能や画面によってはメニューが表示されます。

- タッチエリアをタップするか、指を離して数秒間操作をしないと [] は [] に戻ります。





■ スライド

タッチエリアをロングタッチして [] を [] に切り替え、タッチエリアで目的の方向や位置へ指を動かすと、画面のスクロールやページの切り替えができます。




■ フリック

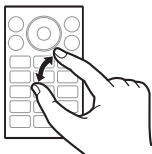
タッチエリアをロングタッチして [] を [] に切り替え、タッチエリアで指を上下左右にはらうように動かすと、画面のスクロールやページの切り替えなどがすばやくできます。




■ ピンチ

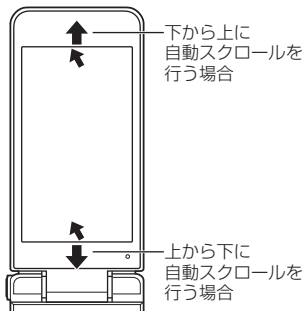
利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）／閉じたり（ピンチイン）するように動かすと、画面の拡大／縮小ができます。拡大／縮小の操作は画面に表示されている【】を起点に行います。

- ブラウザや静止画などで画面を拡大／縮小できます。








■ 自動スクロール

【】を画面端まで移動させた状態で、さらに画面の外側方向へ指を動かすと、自動で画面のスクロールができます。指を離すと、スクロールが停止します。自動スクロール中に画面のスクロール方向に指を動かすと、スクロールが速くなります。



nanoSIMカード

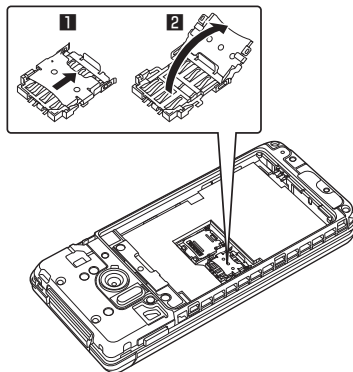
nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- 日本国内では、通話可能なnanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります（P.55 「PINコード」）。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（P.11 「リアカバーの取り外しかた」）、電池パック（P.22 「電池パックの取り外しかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（P.11 「リアカバーの取り付けかた」）、電池パック（P.22 「電池パックの取り付けかた」）を取り付けてください。

nanoSIMカードの取り付けかた

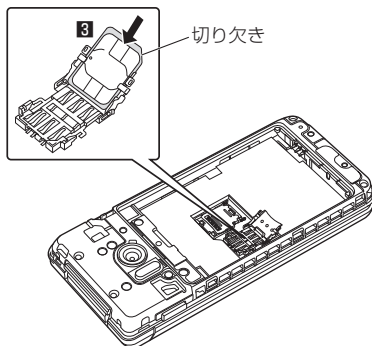
1 nanoSIMカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し（）、開く（）

- カチッと音がするまで、nanoSIMカードスロットカバーをスライドさせてください。

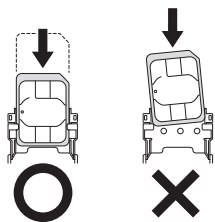


2 nanoSIMカードのIC（金色）面を上に向けてゆっくりと挿入する（）

- 切り欠きの方向にご注意ください。

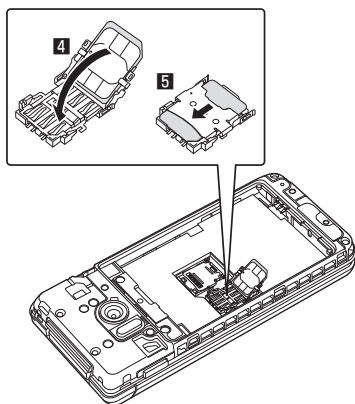


- nanoSIMカードの上下や表裏が逆の状態が無理に挿し込まないでください。nanoSIMカードスロットカバーが破損することがあります。



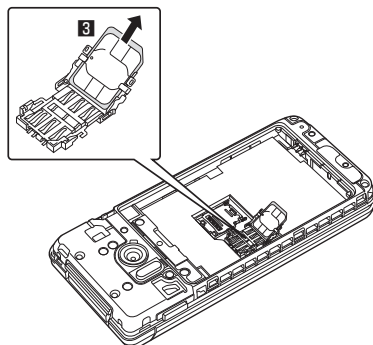
3 nanoSIMカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)

- カチッと音がするまで、nanoSIMカードスロットカバーをスライドさせてください。

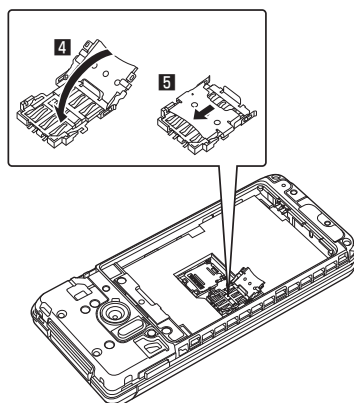


2 nanoSIMカードを取り外す(3)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。

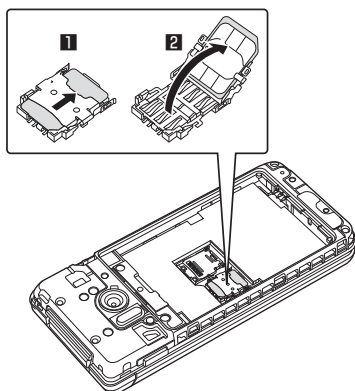


3 nanoSIMカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)



nanoSIMカードの取り外しかた

1 nanoSIMカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)



- nanoSIMカードを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、IC (金色) に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとして、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカードスロットカバーが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードスロットカバーは、しっかりとロックしてください。ロックしていないと、衝撃などでnanoSIMカードが外れ、端末が自動的に再起動する恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳しい取り扱いについては、nanoSIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

電池パック

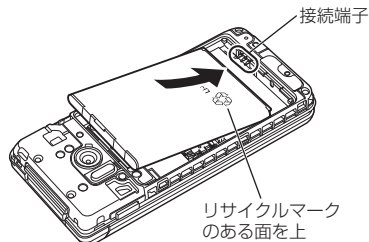
電池パックは、本端末専用の電池パックをご利用ください。

- 電池パックは防水性能を有していません。
- 電池パックの取り付け/取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（[P.11](#)「リアカバーの取り外しかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け/取り外しが終わったら、リアカバー（[P.11](#)「リアカバーの取り付けかた」）を取り付けてください。

電池パックの取り付けかた

1 電池パックを取り付ける

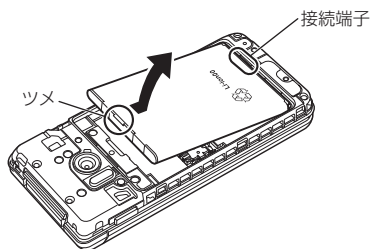
- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、端末の接続端子と電池パックの端子部を合わせて取り付けてください。



電池パックの取り外しかた

1 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指先をかけて、接続端子の方向に軽く押しながら上方向に取り外してください。




- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、端末の接続端子が破損することがあります。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

充電時のご注意

- 充電時間の目安については[P.74](#)「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できません（充電中は電池マークに  が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。このような場合、ACアダプターは再び充電を行います。ただし、ACアダプターから端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。
- 充電中に動画の再生などを行う場合は、端末をACアダプターの電源プラグ部からなるべく離してご使用ください。

十分に充電したときの利用可能時間（目安）

連続通話時間	3G 約620分 VoLTE（音声通話） 約440分
連続待受時間	3G 静止時：約700時間 LTE 静止時：約610時間

- 利用可能時間については[P.74](#)「主な仕様」

電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら動画の再生などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 別売品については次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shn01/index.html>



ACアダプター

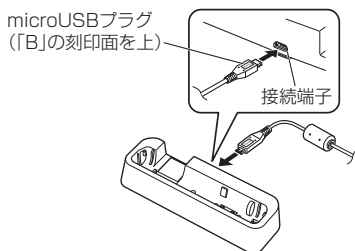
- ACアダプターは、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプターのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

卓上ホルダで充電

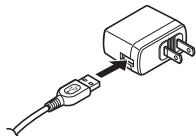
- 付属の卓上ホルダでの充電には、必ず付属のACアダプターと、付属のmicroUSBケーブルをご使用ください。次の操作は付属のACアダプターと、付属のmicroUSBケーブルを使用して説明しています。
- 端末を閉じた状態をご利用ください。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを「B」の刻印面を上にして、卓上ホルダの接続端子に水平に差し込む

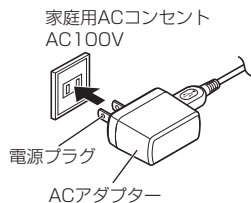
- microUSBプラグの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。



2 microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子に水平に差し込む

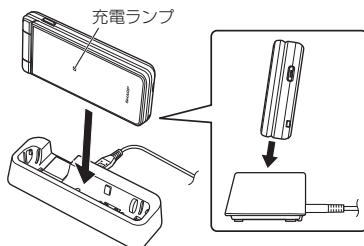


3 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む



4 端末を卓上ホルダに置くと、充電ランプが点灯して、充電を開始する

- 端末を卓上ホルダの傾きに合わせて矢印の方向に「カチッ」と音がするように置いてください。



5 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

- 卓上ホルダを押さえながら、端末を持ち上げてください。

6 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く

7 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを卓上ホルダの接続端子から水平に抜く

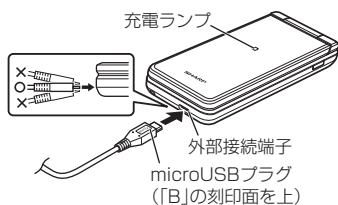
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 充電ランプが点灯しないときは、端末が卓上ホルダに正しく置かれていないことがあります。正しく置き直してください。
- 端末を卓上ホルダに置くときは、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

ACアダプターで充電

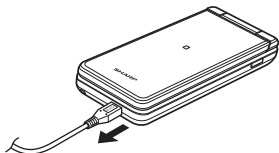
- 次の操作は付属のACアダプターと、付属のmicroUSBケーブルを使用して説明しています。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを「B」の刻印面を上にして、端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。



- microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子に水平に差し込む
- ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する
- 充電が完了すると、充電ランプが消灯する
- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子から水平に抜く
- microUSBケーブルのmicroUSBプラグを端末の外部接続端子から水平に抜く



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

microUSBケーブルで充電

端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法についてはP.64「端末とパソコンの接続方法」

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源を入れる (2秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください (P.27「初期設定」)。

電源を切る／再起動／機内モードの設定／マナーモードの設定

1 電源を切る (1秒以上)

2 項目を選ぶ

- 電源を切る：端末の電源を切ります。
- 再起動：端末を再起動します。
- 機内モード：機内モードについてはP.57「機内モード」
- マナーモード：マナーモードを選ぶと、マナーモードを設定できます (P.54「マナーモード設定」)。

ディスプレイの表示／非表示

一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイの表示が消えているときに、いずれかのキーを押すと画面が表示されます。

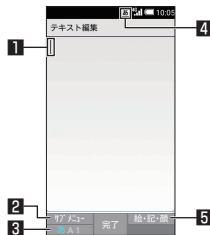
文字入力

電話帳の登録やメールの作成など、文字を入力して利用する機能やアプリがあります。

文字入力のしくみ

1つのダイヤルキーに複数の文字が割り当てられています。キーを押すたびに文字が切り替わります。

- 文字の種類には、次の2種類があります。
 - 全角文字：漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字、英小文字、数字、記号
 - 半角文字：カタカナ、英大文字、英小文字、数字、記号



1 カーソル

- 追加したい位置にカーソルを合わせます。

2 サブメニュー

- 入力設定やユーザー辞書登録などができます (P.24「文字入力のサブメニュー操作」)。

3 入力モード切替

- 入力モードを変更します。
 - ☑を押すたびに半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。

4 入力モード表示

- 入力モードをステータスアイコンで確認できます。

5 絵文字・記号／顔文字

- 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
 - アプリによっては、入力できないものがあります。

文字入力のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能やアプリ、条件などにより異なります。

1 文字入力画面で☑

2 項目を選ぶ

- ☑ コピー他 (範囲選択)：入力した文字を選択してコピーや切り取り、貼り付けなどの操作ができます (P.26「文字の編集」)。
- ☑ 貼り付け：コピー／切り取りした文字列を貼り付けます (P.26「文字の編集」)。
- ☑ 貼り付け (履歴)：コピー／切り取りした文字列の履歴を選択して貼り付けます。
 - 履歴は削除することもできます (P.26「履歴の削除」)。
- ☑ 文字種変更：文字種を選択して切り替えます。
- ☑ 定型文入力：定型文を選択して入力します (P.26「定型文入力」)。
- 定型文を作成して入力することもできます (P.26「定型文の登録」)。
- ☑ ユーザー辞書登録 (日)：単語をユーザー辞書に登録します (P.25「ユーザー辞書に登録」)。
- 文字入力画面に入力した文字列を選択して、ユーザー辞書に登録することもできます。

- **引用・連携**: バーコードリーダーやGoogle™検索などを利用して入力します (P.26「引用・連携」)。
 - 文字入力画面に入力した文字列を選択して、操作することもできます。
- **入力設定**: 文字入力について設定します (P.25「文字入力の設定」)。
- **編集キャンセル**: 入力をキャンセルして、アプリに戻ります。

文字入力の設定

入力補助・変換

- 1 文字入力画面で [入力設定] ▶ [入力補助・変換]
- 2 項目を選ぶ
 - **予測変換**: 予測変換を利用するか設定します。
 - **つながり予測**: 入力確定直後につながり予測候補を表示します。
 - **ワイルドカード予測**: ワイルドカード予測を利用するか設定します。
 - **自動カーソル移動**: 文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
 - **メールいきなり予測**: PCメールの本文入力時に文頭に使用する文章の候補を表示します。
 - **ネット変換エンジン**: インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
 - **自動大文字変換**: 半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。
 - **自動スペース入力**: 半角英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。

【自動大文字変換】について

- 利用中の機能／アプリによっては、設定に従わない場合があります。

辞書

- 1 文字入力画面で [辞書]
- 2 項目を選ぶ
 - **ユーザー辞書**: ユーザー辞書の単語を編集します (P.25「ユーザー辞書に登録」)。
 - **ダウンロード辞書**: ダウンロード辞書の登録／解除／削除をします。
 - **電話帳名前データと連携**: 電話帳の名前データを辞書に追加／初期化します。

各種リセット

- 1 文字入力画面で [各種リセット]
- 2 項目を選ぶ
 - **設定リセット**: S-Shoinの設定をリセットします。
 - **学習辞書リセット**: 学習辞書をリセットします。
 - **顔文字リセット**: 顔文字リストの内容をリセットします。

ユーザー辞書に登録

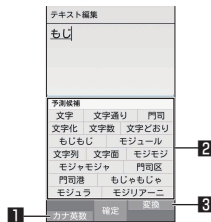
よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語でそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語の読みを入力すると、候補一覧に表示されます。

- 1 文字入力画面で [入力設定] ▶ [辞書] ▶ [ユーザー辞書]
 - [] で日本語用／英語用のユーザー辞書を切り替えることができます。
 - 日本語のユーザー辞書に単語を登録する場合は、文字入力画面で [ユーザー辞書登録 (日)] でも登録できます。
- 2 [] ▶ [新規登録] ▶ 読み、単語を入力 ▶ [登録]
 - 編集: 単語にカーソルを合わせる ▶ [] ▶ [編集] ▶ 読み、単語を編集 ▶ [登録]
 - 1件削除: 単語にカーソルを合わせる ▶ [] ▶ [1件削除] ▶ [はい]
 - 全件削除: [] ▶ [全件削除] ▶ [はい]

文字入力のしかた

例: 「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



1 カナ英数

- 入力した文字のカタカナ、入力したキーに割り当てられた英数字や記号の変換候補 (カナ英数変換候補) を表示します。

2 予測候補欄

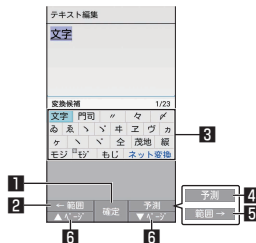
- [予測変換] を有効にしていると表示されます。
- [] で選択して入力します。
- ネット変換エンジンを設定している場合は [ネット変換] が表示されます。選択するとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 変換 / 予測

- 予測候補と変換候補を切り替えることができます。

2 []

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ




1 確定

- 変換を確定します。

2 ←範囲

- 変換する文字の区切りを縮小することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

3 変換候補欄

-  で選択して入力します。
- ネット変換エンジンを設定している場合は [ネット変換] が表示されます。選択するとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

4 予測 / 変換


- 変換候補と予測候補を切り替えることができます。

5 範囲 →

- 変換する文字の区切りを拡大することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

6 ▲ページ / ▼ページ

- 候補一覧のページを切り替えることができます。

- 候補を選択中に  を押すと、ブラウザの検索や引用・連携の利用、学習した候補の削除ができます。引用・連携については [P.26](#) [引用・連携]
- ユーザー辞書やダウンロード辞書を登録すると、候補一覧に表示されるようになります。

定型文入力

あらかじめ登録されている固定定型文や、登録した定型文などを入力できます。

1 文字入力画面で [定型文入力]




2 定型文を選ぶ

■ 定型文の登録

よく利用する語句などを定型文として登録できます。

1 文字入力画面で [定型文入力] ▶ [ユーザーオリジナル]

2 ▶ [新規登録] ▶ 定型文を入力 ▶ [保存]

- 編集：定型文にカーソルを合わせる  ▶ [編集] ▶ 定型文を編集 ▶ [保存]
- 1 件削除：定型文にカーソルを合わせる  ▶ [1 件削除] ▶ [はい]
- 全件削除：  ▶ [全件削除] ▶ [はい]

引用・連携

コピー履歴、バーコードリーダー、位置情報、定型文、プロフィール、メモ帳、Google 検索を利用して入力できます。

1 文字入力画面で [引用・連携]

2 項目を選ぶ

- コピー履歴：コピー / 切り取りした文字列の履歴を入力します。
- バーコードリーダー：バーコードリーダーで読み取った内容を入力します。
- プロフィール：プロフィールを入力します。
- メモ帳：メモ帳に保存された内容を入力します。
- 位置情報：位置情報を取得して座標を入力します。
- 定型文入力：定型文を入力します。
- 電話帳：電話帳の連絡先を入力します。
- Google 検索：Google で検索します。

ワイルドカード予測


入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ [ワイルドカード予測] を有効にしておいてください ([P.25](#) [入力補助・変換])。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

■ 例：「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2

-  を押すたびに [*] が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 予測候補欄で「アナウンス」を選ぶ

区点コードで入力

文字ひとつひとつにつけ与られている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で ▶ [文字種変更] ▶ [区点]


2 区点コードを入力

- 4 桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4 桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。


文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 文字入力画面で文字を入力 ▶

- 文字入力画面で  ▶ [コピー他 (範囲選択)] でも選択できます。


2 開始位置を選ぶ ▶ 終点位置を選ぶ

- 入力したすべての文字を選択： 

3 [コピー] / [切り取り]

4 貼り付ける位置を選ぶ

5 ▶ [貼り付け]

-  を 1 秒以上押すと、直前でコピー / 切り取りした文字列を貼り付けることができます。

■ 履歴の削除

コピー / 切り取りした文字列は削除することができます。

1 文字入力画面で ▶ [貼り付け (履歴)]

2 履歴にカーソルを合わせる ▶ [1 件削除]



- 全件削除：  ▶ [全削除]

3 [はい]

- コピー / 切り取りした文字列は最大 10 件まで記憶されます。10 件を超えた場合は古い履歴から順に削除されます。

スペースの入力

1 文字入力画面の文末で

- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは 1 文字として数えられます。
- 文中に入力：カーソルを移動 ▶   ▶ 全角 / 半角スペースを選ぶ

文字の切替

1 文字入力画面で文字を入力▶

- 大文字/小文字の切り替えや、濁点/半濁点の入力ができます。

1 つ前の文字を入力

同じキーに割り当てられた文字を1つ前に戻します。

1 文字入力画面で文字を入力▶

元に戻す

直前の操作を取り消したり、確定を解除します。

1 文字入力画面で

- 文字を削除した場合は、直前に削除した文字を5回分元に戻すことができます。

文字の1文字削除

1 文字入力画面で

- カーソルの右側の文字が削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル左側の文字が削除されます。
- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソルの文字が削除されます。

文字の削除

1 文字入力画面で (1秒以上)



- カーソルの後ろに文字があるときは、後ろの文字がすべて削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されません。画面の指示に従って設定してください。

文字サイズの初期設定

1 端末初期設定画面が表示されたら文字サイズを選択

- 初期設定の終了：/▶ [はい]



2

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント※を設定しません。

- 本端末には、いくつかの通信事業者に対応したアクセスポイントがあらかじめ登録されています。nanoSIMカードを取り付けた状態で電源を入れると、アクセスポイントが自動で設定されます。
 - 対応するアクセスポイントが本端末に登録されていない場合は、アクセスポイントを追加で設定してください。以降は電源を入れると設定したアクセスポイントに接続します。

※通信事業者によっては「APN」や「アクセスポイントネーム」とも呼ばれます。

■ 利用中のアクセスポイントを確認

1 待受画面で▶[設定]▶[ネットワーク]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

■ アクセスポイントを追加で設定<新しいAPN>

1 待受画面で▶[設定]▶[ネットワーク]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

2 ▶[新しいAPN]

3 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶

4 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶▶[保存]

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 待受画面で **◎ ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]**

2 **🔍 ▶ [初期設定にリセット]**

- 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。
- [Wi-Fi] をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にパケット通信での接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。

1 待受画面で **◎ ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]**

2 **[Wi-Fiの設定] ▶ ONにする**

3 **アクセスポイントを選ぶ**

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード (セキュリティキー) を入力し、[接続] を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録: **🔍 ▶ [ネットワークを追加] ▶ ネットワーク名を入力 ▶ セキュリティを設定 ▶ [保存]**
- WPSに対応しているアクセスポイントは簡単登録ができます。待受画面で **◎ ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi] ▶ 🔍 ▶ [簡単設定] ▶ [WPSプッシュボタン] / [WPS PIN入力]** でアクセスポイントを登録してください。
- 接続したいアクセスポイントが表示されない場合: **🔍 ▶ [更新]** でアクセスポイントが再スキャンされます。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード (セキュリティキー) を入力した場合、[IP設定エラー]、[WiFi接続エラー] または [認証に問題] と表示されます。パスワード (セキュリティキー) をご確認ください。なお、正しいパスワード (セキュリティキー) を入力しても [IP設定エラー] と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- WPS簡単登録の登録処理には、数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。

- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x/EAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、**🌐** が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。

詳細設定

1 待受画面で **◎ ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]**

2 **🔍 ▶ [詳細設定]**

3 **項目を選ぶ**

- **スキャンを常に実行する:** [Wi-Fiの設定] がOFFの場合でもアプリからネットワークのスキャンを利用するか設定します。
- **ネットワークの通知:** オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fiの設定] をONにしてから設定してください。
- **Wi-Fiのスリープ設定:** ディスプレイの表示が消えたときにWi-Fiを切断するか設定します。
- **ハンドオーバー:** ハンドオーバーを利用するか設定します。
- **証明書のインストール:** 証明書をインストールします。
- **Wi-Fi Direct:** Wi-Fi Directについては **🔍 P.28 [Wi-Fi Direct]**
- **MACアドレス:** MACアドレスを確認できます。
- **IPアドレス:** IPアドレスを確認できます。

Wi-Fi Direct

アクセスポイントやインターネットを利用せずに、他のWi-Fi Direct規格対応機器とWi-Fi機能で接続できます。

- [Wi-Fi] をONにしている場合に利用できます (**🔍 P.28 [Wi-Fiの設定]**)。

1 待受画面で **◎ ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi] ▶ 🔍 ▶ [詳細設定] ▶ [Wi-Fi Direct]**

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

切断

1 待受画面で **◎ ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]**

2 **接続しているアクセスポイントを選ぶ ▶ [切断]**

- パスワードを保持したまま切断します。ディスプレイを表示させた場合など、自動で再接続する場合があります。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器や付属のmicroUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、microUSBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器5台の計16台です。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください（[P.67](#)「Bluetooth機能の利用」）。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [テザリング]

2 項目を選ぶ

- USBテザリング：USBテザリングを利用するか設定します。
- Wi-Fiテザリング：Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
- Wi-Fiテザリングを設定：ネットワーク名やセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- Bluetoothテザリング：Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

[USBテザリング] について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Linuxの場合にご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。
- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

[Wi-Fiテザリング] について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は [Wi-Fiテザリングを設定] で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

[Wi-Fiテザリングを設定] について

- お買い上げ時は、ネットワーク名は [SH-NO1_AP]、セキュリティは [WPA2 PSK]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

メールのアカウントの設定

1 待受画面で ▶ [PCメール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。
- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する] を選択してください。
- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する] / [同意しない] を選択してください。

2 メールアドレスを入力

3 パスワードを入力

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する

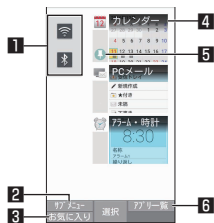
5 アカウントの名前、あなたの名前を入力

アプリ使用履歴の利用

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。また、Bluetooth機能/Wi-Fi機能を有効/無効に設定することができます。

1

- 機能やアプリを利用中に押しても操作できます。



1 Wi-Fi機能/Bluetooth機能

-  : Wi-Fi機能の有効 /  : Wi-Fi機能の無効
-  : Bluetooth機能の有効 /  : Bluetooth機能の無効

2 サブメニュー

- 履歴の削除や画面固定を利用できます。




3 お気に入り

- 機能やアプリを登録して起動することができます（[P.30](#)「お気に入りの利用」）。

4 アプリの使用履歴

- 履歴を選択してアプリを起動することができます。

5 画面の固定

- [画面の固定] がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定については[P.56](#)「高度な設定」
-  ▶ [画面固定] を選択すると、選択したアプリ以外を使用できなくなります。
 - ・ 画面の固定を解除： と  を同時押し

6 アプリ一覧

- アプリ一覧から機能やアプリを選択して起動することができます。

お気に入りの利用

よく使う機能やアプリをお気に入りに登録してすばやく起動することができます。

1

- 機能やアプリを利用中に押しても表示できます。



1 サブメニュー

- 機能やアプリの登録／解除ができます。

2 登録情報

- [1] ~ [0] に機能やアプリを登録できます。



クイック起動キーの利用

よく使う電話番号やお気に入りの機能をクイック起動キーに登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。また、短押しと長押し（1秒以上）の操作に異なる機能を登録することもできます。

クイック起動キーに登録




1 待受画面で [クイック起動キー]

2 登録するキー（短押し／長押し）を選ぶ 登録機能を選ぶ

- 登録の解除：  [解除]

クイック起動キーに登録した機能の利用

1 / /

- 長押しに登録した場合は  /  /  を1秒以上押しします。
- 押したキーに機能が登録されていない場合は、登録確認画面が表示されます。

電話や電話帳を利用したり、通話や着信時の動作などについて設定できます。

電話をかける

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 待受画面で電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。
- 最後の1桁を消去：
- すべての桁を消去：（1秒以上）
- カーソルの位置を移動して1桁を消去：



2

- 電話帳の登録：▶【電話帳に登録】▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶
- 発信履歴／着信履歴の確認：▶【履歴参照】
- SMSの作成・送信：▶【SMS作成】▶メッセージを入力▶
- 特番の付加：▶【特番付加】▶付加する特番を選ぶ
- 通話設定：▶【設定】
通話設定についてはP.35「通話設定」

3 通話が終わったら

- 電話番号入力画面で数字を入力すると、「電卓」「タイマー」「アラーム」などの機能をすばやく起動することができます。数字入力後に画面の指示に従って操作してください。利用できる機能は入力した数字により異なります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質でご利用いただけます。
 - VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - ご契約の通信事業者がVoLTEに対応していること
 - VoLTE対応サービスエリア内であること*
 - [4Gを利用する]が有効であること（P.58「モバイルネットワーク」）
 - [通話モード設定]が有効であること（P.35「通話設定」）
- * VoLTE対応サービスエリア外は、VoLTEを利用できません。

プレフィックスの入力

プレフィックス番号（電話番号の先頭に付加する番号）に対応したサービスを利用する際、電話番号の前にプレフィックス番号を付加してダイヤルできます。

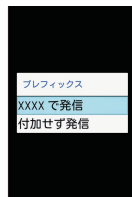
- あらかじめ、プレフィックスを登録しておいてください（P.35「プレフィックス設定」）。

1 待受画面で電話番号を入力

2

3 プレフィックスを選ぶ

- プレフィックス番号を付加しない場合：[付加せず発信]



プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(P)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力▶▶【特番付加】▶【P付加】

2 送信する番号を入力▶

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した相手にすばやく電話をかけることができます。

- あらかじめ連絡先を登録しておいてください（P.35「電話帳の登録」）。

スピードダイヤルへの登録

1 待受画面で▶【電話機能】▶【スピードダイヤル】

2 登録したい番号の[<未登録>]▶連絡先を選ぶ

スピードダイヤルで発信

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0~99)を入力▶

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。

- 待受画面で未登録のスピードダイヤル番号を入力してを押すと、スピードダイヤル一覧が表示されます。スピードダイヤル一覧から連絡先を選んで発信したり、新しくスピードダイヤルに連絡先を登録したりできます。
- スピードダイヤルに登録した連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、待受画面でスピードダイヤルの番号を入力してを押すと、メールの作成ができます。

かんたん発信（音声認識）で電話をかける

かんたん発信（音声認識）を利用すると、スピードダイヤルに登録した相手に音声で電話をかけることができます。

かんたん発信（音声認識）の設定

1 待受画面で◎▶[電話機能]▶[かんたん発信(音声認識)]

2 項目を選ぶ

- かんたん発信設定：かんたん発信（音声認識）を利用するか設定します。
- 認識対象の登録（スピードダイヤル）：スピードダイヤルの一覧を表示し、登録/解除などの操作ができます。
- 音声認識の使い方：かんたん発信（音声認識）の使いかたを表示します。

[かんたん発信設定]について

- [本体を開いたとき]、[サイドキーを長押ししたとき]を有効にしていると、かんたん発信（音声認識）を利用できます。

かんたん発信（音声認識）で発信

1 端末を開く/端末を開いているときに☎(1秒以上)

- ☎が表示されます。
- 待受画面やメニュー一覧の状態で作ってください。

2 送話口/マイクに向かって電話したい相手の名前を話す

3 相手の名前を確認▶[はい]

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。

- 同一の名前を複数登録している場合は正しく動作しないことがあります。

- 名前を正しく音声認識させるには、連絡先に登録されている姓、名のふりがなを個別または姓名の順に続けて話す必要があります。正しく認識されない場合は、連絡先に登録されている姓名を確認してください（※P.36「電話帳の確認/利用」）。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面、ストレージ復号化のパスワード入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

電話を受ける

● 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する



- 2 
● を押しても電話を受けることができます。

- 3 通話が終わったら 

応答保留

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2 

着信音量調節

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2 

着信音をサイレントにする

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2 

クイック返信

着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信することができます。

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2  ▶ **クイック返信**



- 3 **メッセージ**を選ぶ

簡易留守録で応答

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2  ▶ **簡易留守録**

■ 簡易留守録の再生

- 1 待受画面で  ▶ **通知アイコン**  を選ぶ ▶ **簡易留守録通知**を選ぶ

● 待受画面で  ▶ **電話機能** ▶ **簡易留守録再生** でも確認できます。


- 2 **簡易留守録**を選ぶ



着信拒否


- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2  ▶ **着信拒否**

不在着信表示

かかってきた電話に出られなかったときは、待受画面に通知アイコン  が表示されます。

- 1 待受画面で  ▶ **通知アイコン**  を選ぶ ▶ **不在着信通知**を選ぶ

- 着信履歴一覧画面が表示されます。
- 待受画面で  を押しても確認できます。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



- 1 相手の名前や電話番号

- 2 通話時間

- 3 サブメニュー

● 発信履歴／着信履歴一覧画面の表示や、音声メモとして通話の録音などができます。

- 4 高音質表示

- VoLTEを利用した高音質通話中に表示されます。
- VoLTE着信中なども表示されます。

- 5 ミュート／ミュート解除

● ミュートの設定／解除を切り替えます。

- 6 スピーカー

● ハンズフリーのONとOFFを切り替えます。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
 - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が届かないなど良好な通話ができないことがあります。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
- 「保留」と「通話を追加」をお使いになる場合、あらかじめご利用の通信事業者との契約が必要となります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。
なお、通信事業者によっては、これらの機能を提供していない場合もあります。

通話音量調節

- 1 通話中に 

くっきりトークの利用

くっきりトークを有効にすると、通話中に送話口／マイクを利用して周囲のノイズを測定し、自分の声を明瞭にして相手に伝えることができます。

1 通話中に🔇

- くっきりトークを解除する：🔇

- くっきりトークでは通話を明瞭にするために音声加工処理しています。周囲のノイズ状態や話しかたにより、音声の聞こえかたが異なる場合があります。
- くっきりトークを利用する場合は送話口／マイクの穴を塞がないようにして、送話口／マイクをできるだけ近づけてお話しください。
- ハンズフリーで通話中など、相手の声を受話口から出ていないときは、くっきりトークを利用できません。

保留

1 通話中に🔒

音声メモ

1 通話中に🗣️▶️ [音声メモ]

- 開始音が鳴り、録音を開始します。

2 🛑

- 停止音が鳴り、録音した音声メモを保存します。

音声の出力先の切替

Bluetooth機器を接続しているときのみ操作できます。

1 通話中に🗣️▶️ [Bluetooth OFF] / [Bluetooth ON]

発信履歴／着信履歴一覧画面の表示

1 通話中に🗣️▶️ [履歴参照] ▶️ [発信履歴] / [着信履歴]

通話を追加

通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

■例：電話帳を表示して通話を追加するとき

1 通話中に🗣️▶️ [通話を追加] ▶️🗣️

- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。

2 連絡先にカーソルを合わせる▶️👉

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。
- 通話相手を切り替える場合は、通話中に🔒を押してください。

電話帳の表示

1 通話中に🗣️▶️ [電話帳参照]

自局番号確認

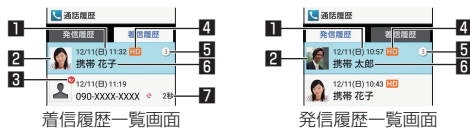
1 通話中に🗣️▶️ [プロフィール参照]

発信履歴／着信履歴

最新の履歴からそれぞれ100件まで本体メモリに記憶されます。

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 待受画面で🗣️



1 発信日付時

2 電話帳に登録している顔写真

3 不在着信の表示

4 高音質表示

- VoLTE（高音質）で通話を行った履歴の場合に表示されます。

5 グループ数

- 同じ相手の発信／着信履歴が連続した場合に表示されます。
- 🗣️を押すと、グループ内の履歴の表示／非表示を切り替えられます。

6 相手の名前／電話番号

7 不在着信時間

2 履歴にカーソルを合わせる

- 発信履歴／着信履歴一覧画面の切替：🗣️

3 🗣️

- SMSの作成・送信：🗣️▶️ [SMS作成] ▶️メッセージを入力▶️🗣️

- 番号を編集して発信：🗣️▶️ [編集して発信] ▶️電話番号を編集▶️🗣️

- 特番を付加して発信：🗣️▶️ [特番付加] ▶️特番を選択▶️🗣️

- 電話帳の登録：🗣️▶️ [電話帳に登録] ▶️登録先を選ぶ▶️各項目を設定▶️🗣️

- 着信拒否登録：🗣️▶️ [着信拒否登録] ▶️登録先を選ぶ

- 電話帳の表示：🗣️▶️ [電話帳]

- 通話設定：🗣️▶️ [設定]

通話設定については📖P.35「通話設定」

発信履歴／着信履歴の削除

1 待受画面で🗣️

2 履歴にカーソルを合わせる▶️🗣️▶️ [1件削除] ▶️ [はい]

- 選択削除：🗣️▶️ [選択削除] ▶️履歴を選ぶ▶️🗣️▶️ [はい]
- 全件削除：🗣️▶️ [全件削除] ▶️ [はい]

簡易留守録・音声メモ

簡易留守録・音声メモの再生や設定ができます。簡易留守録を設定しておくと、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

- 簡易留守録・音声メモはそれぞれ30件（1件あたり約5分）まで録音できます。

1 待受画面で🗣️▶️ [電話機能] ▶️ [通話設定] ▶️ [簡易留守録設定]

2 項目を選ぶ

- 簡易留守録リスト：簡易留守録の再生や削除、件名の編集、microSDカードへの保存などができます。
- 音声メモリスト：音声メモの再生や削除、件名の編集、microSDカードへの保存などができます。

- **空き容量確認**：簡易留守録／音声メモの残り登録可能容量、件数を表示します。
- **簡易留守録設定**：簡易留守録の動作について設定します。
- **応答メッセージ設定**：簡易留守録の応答メッセージについて設定します。
- **応答時間設定**：簡易留守録の応答時間について設定します。

- 保存した簡易留守録が最大保存件数を越えた場合は、再生済みの古い簡易留守録から順に削除されます。簡易留守録がすべて未再生のときは電話がかかってきても簡易留守録で応答しません。
- 保存した音声メモが最大保存件数を越えた場合は、古い音声メモから順に削除されます。

プレフィックス設定

プレフィックス（電話番号の先頭に付加する番号）の設定ができます。プレフィックスを登録しておくことで、電話をかけるときにプレフィックス番号を付加することができます。

プレフィックスの登録

- 1 待受画面で **☉** ▶ **[電話機能]** ▶ **[通話設定]** ▶ **[プレフィックス設定]** ▶ **[プレフィックスリスト]**
- 2 **☒** ▶ **[追加]** ▶ **名称・番号を入力** ▶ **☒**
 - プレフィックスの編集：プレフィックスにカーソルを合わせる ▶ **☒** ▶ **[編集]** ▶ **名称・番号を入力** ▶ **☒**
 - プレフィックスの削除：**☒** ▶ **[削除]** ▶ **[はい]**

通話設定

- 1 待受画面で **☉** ▶ **[電話機能]** ▶ **[通話設定]**
- 2 項目を選ぶ
 - **クイックサイレント**：端末を閉じているときに **📞** を押すと一時的に着信音やバイブレータ、着信ランプの点滅を停止するか設定します。
 - **オープン時動作**：着信中に端末を開いたときの動作を設定します。
 - **オートアンサー**：イヤホンマイク接続中に着信があった場合、自動で応答するかを設定します。
 - **通話モード設定**：VoLTEを利用するか設定します。
 - **クイック返信**：クイック返信に使用する文章を編集します。
 - **エニーキーアンサー**：ダイヤルキーでも着信に応答するか設定します。
 - **簡易留守録設定**：簡易留守録設定については **📞** P.34 「簡易留守録・音声メモ」
 - **プレフィックス設定**：**📞** P.35 「プレフィックス設定」
 - **国際発信設定**：国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。
 - **発信信制限**：**📞** P.35 「発信信制限」
 - **サブアドレス設定**：電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切り子にするか設定します。

発信信制限

- 1 待受画面で **☉** ▶ **[電話機能]** ▶ **[通話設定]** ▶ **[発信信制限]**
- 2 項目を選ぶ
 - **発信先限定**：**📞** P.35 「発信先限定」
 - **着信拒否**：**📞** P.35 「着信拒否」

発信先限定

- 1 待受画面で **☉** ▶ **[電話機能]** ▶ **[通話設定]** ▶ **[発信信制限]** ▶ **[発信先限定]**
 - 2 暗証番号を入力
 - 3 項目を選ぶ
 - **電話番号指定**：指定した相手だけに発信できるように設定します。
 - **電話帳に限定**：電話帳に登録されている相手だけに発信できるように設定します。
- 発信先限定を設定している場合でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）へは発信できます。

着信拒否

- 1 待受画面で **☉** ▶ **[電話機能]** ▶ **[通話設定]** ▶ **[発信信制限]** ▶ **[着信拒否]**
- 2 項目を選ぶ
 - **電話番号指定**：指定した相手からの着信だけ受けないように設定します。
 - 指定電話番号の編集：**☒** ▶ 電話番号を編集
 - **電話帳未登録番号**：電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
 - **非通知着信**：電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
 - **公衆電話**：公衆電話からの着信を受けないように設定します。
 - **通知不可能**：電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。

【電話帳未登録番号】について

- 登録外着信拒否を設定している場合でも、シークレット属性を設定した連絡先からは着信します。電話帳に登録した名前は表示されず、電話番号のみが表示されます。

電話帳

連絡先の管理を行うことができます。

電話帳の登録

- 1 待受画面で **☒**
- 2 **☒**
- 3 各項目を設定
 - **名前**：姓、姓（よみ）、名、名（よみ）を入力します。
 - **電話番号**：電話番号の種別と電話番号を登録します。
 - **メール**：メールアドレスの種別とメールアドレスを登録します。
 - **写真**：画像を登録します。
 - 連絡先確認時やSMS利用時に表示する画像を設定します。
 - **着信音設定**：着信音、バイブパターン、点滅パターン／カラーを設定します。
 - **グループ設定**：グループに分けて登録します。
 - グループ登録している場合のみ設定できます。
 - **誕生日**：誕生日を設定します。
 - **住所**：郵便番号と住所を登録します。
 - **ニックネーム**：ニックネームを登録します。
 - **GPS情報**：GPS情報を登録します。
 - **所属**：所属を登録します。

□ウェブサイト：URLを登録します。

□メモ：メモを登録します。

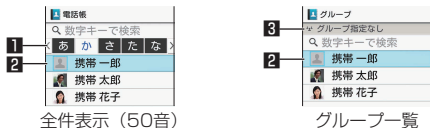
4 ④

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で④

- 電話帳リスト画面が表示されます。
- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。



1 インデックスタブ

- ④でタブを切り替えます。

2 画像／連絡先

3 グループ名

2 名前を選ぶ

3 登録情報を確認／利用する



電話帳内容表示画面

電話をかける

1 電話帳内容表示画面で電話番号を選ぶ▶[発信]

SMSの作成・送信

1 電話帳内容表示画面で電話番号を選ぶ▶[SMS作成]▶メッセージを入力▶④

メールの作成・送信

1 電話帳内容表示画面でメールアドレスを選ぶ▶[メール作成]▶メールを作成▶④

電話帳の編集

1 電話帳内容表示画面で④▶各項目を設定▶④

- 設定できる各項目についてはP.35「電話帳の登録」

表示方法の切替

電話帳の表示方法を、全件表示（50音）／グループ一覧の表示に切り替えます。

1 電話帳リスト画面で④▶[表示方法切替]

2 [名前順]／[グループ]

電話帳の削除

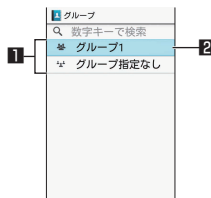
1 電話帳リスト画面で名前にカーソルを合わせる▶④▶[1件削除]▶[はい]

- 選択削除：電話帳リスト画面で④▶[選択削除]▶名前を選ぶ▶④▶[はい]

グループの利用

1 待受画面で④▶④▶[表示方法切替]▶[グループ]

2 グループを利用する



グループ一覧画面

1 グループ

2 グループ名

グループの編集／追加

1 グループ一覧画面で④▶[グループ追加・編集]

2 ④▶[追加]▶各項目を設定▶④

- グループの編集：グループを選択▶[グループ編集]▶各項目を設定▶④
- グループの削除：④▶[削除]▶グループを選択▶④▶[はい]

グループへの登録／解除

1 グループ一覧画面で④▶[グループ追加・編集]▶グループを選択▶[メンバー登録]

2 連絡先を選ぶ▶④▶[はい]

- 連絡先の選択を解除すると、登録を解除できます。

- [グループ指定なし]は、グループ名の変更、グループの削除などの操作はできません。

メール／ウェブブラウザ

SMSやPCメールを利用して、メッセージを送受信したり、ウェブブラウザを利用してサイトを表示したりできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- SMSが利用可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

1 待受画面で☑▶[SMS]

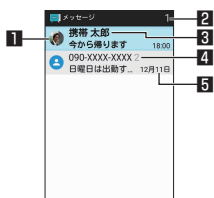
2 ㊦▶宛先、メッセージを入力▶㊦

- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」／「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 待受画面で☑▶[SMS]

- 宛先／送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



1 画像

- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。

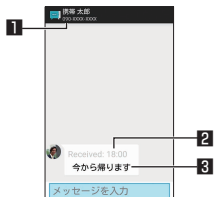
2 未読メッセージのあるスレッド数

3 宛先／送信元

4 スレッド内のメッセージ件数

5 送受信日時

2 スレッドを選ぶ



1 宛先／送信元

2 送受信日時

3 メッセージ

3 メッセージを確認する

- 差出人に電話発信：㊦▶[発信]▶㊦
- 差出人を電話帳に登録：㊦▶[電話帳登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶㊦

メッセージの返信

1 待受画面で☑▶[SMS]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージを入力▶㊦

メッセージの転送

1 待受画面で☑▶[SMS]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージにカーソルを合わせる▶㊦▶[転送]

4 宛先、メッセージを入力▶㊦

メッセージの削除

1 待受画面で☑▶[SMS]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージにカーソルを合わせる▶㊦▶[メッセージを削除]▶[はい]

スレッドの削除

1 待受画面で☑▶[SMS]

2 ㊦▶[選択削除]▶スレッドを選ぶ▶㊦▶[はい]

- スレッドの全件削除：㊦▶[全削除]▶[はい]

メッセージの設定

1 待受画面で☑▶[SMS]

2 ㊦▶[設定]

3 項目を選ぶ

- SMSアプリの変更：SMSを送受信するアプリを確認できます。
- 古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除します。
- テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
- 受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
- SIMカードのメッセージ：nanoSIMカードに保存したメッセージを管理します。
- 通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知します。
- 着信音：メッセージ受信時の着信音を設定します。
- バイブレーション：メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

[受取確認通知] について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

PCメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください（P.29「メールのアカウントの設定」）。

1 待受画面で☑▶[PCメール]

2 [新規作成]



PCメール作成画面

3 宛先入力欄を選ぶ

4 宛先の追加方法を選ぶ▶宛先を入力▶☑

- 宛先追加：[新規登録] ▶宛先の追加方法を選ぶ▶宛先を入力
- 宛先の1件削除：宛先にカーソルを合わせる▶☑▶[削除]▶[1件]▶[はい]
- 宛先の選択削除：☑▶[削除]▶[複数選択]▶宛先を選ぶ▶☑▶[はい]
- 宛先の種類を変更：宛先にカーソルを合わせる▶☑▶[宛先切替]▶[Toへ変更] / [Ccへ変更] / [Bccへ変更]

5 件名入力欄を選ぶ▶件名を入力

6 本文入力欄を選ぶ▶本文を入力

7 ☑

- 下書き保存：☑▶[下書きを保存]
- 作成中のメールを削除：☑▶[破棄]▶[はい]

添付ファイル

PCメールに静止画や動画などを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

2 [データフォルダ] / [その他] ▶添付ファイルを選ぶ

3 ☑

■ 添付ファイルの追加

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

2 [ファイルを追加] ▶[データフォルダ] / [その他] ▶添付ファイルを選ぶ▶☑

■ 添付ファイルの削除

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

2 添付ファイルにカーソルを合わせる▶☑▶[削除]▶[1件]▶[はい]▶☑

- 選択削除：☑▶[削除]▶[複数選択]▶添付ファイルを選ぶ▶☑▶[はい]▶☑

メールの表示

1 待受画面で☑▶[PCメール]

2 トレイ／フォルダを選ぶ▶メールを選ぶ



1 表示中のトレイ名／フォルダ名

2 メール

- 未読メールは、送信元や件名が青い太字の表示になります。

3 サブメニュー

- PCメールの新規作成やスターの付与／解除、アカウント切替、設定ができます。

4 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、★付きフォルダで確認することができます。

5 新着受信

- 新着メールを問い合わせで受信できます。

6 ▲ / ▼

- ページをスクロールすることができます。

3 メールを確認する



1 送信元／宛先

- 選択するとアドレスの詳細情報が表示されます。アドレスを選んで、メールの作成や電話帳への登録ができます。

2 件名

3 本文

4 添付ファイル

5 サブメニュー

- PCメールの返信／転送やスターの付与／解除、アカウント切替、設定ができます。

6 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。







7 受信日時

8 返信






9 前へ / 次へ

- 前のメール／次のメールを表示できます。



メールの返信／転送

- 1 待受画面で  ▶ [PCメール]
- 2 **トレイ／フォルダを選ぶ** ▶ **メールを選ぶ**
- 3 
 - 全員に返信：  ▶ [全員に返信]
 - 本文を引用して返信：  ▶ [引用返信]
 - 転送：  ▶ [転送]
- 4 **メールを作成**
- 5 


メールの削除

- 1 待受画面で  ▶ [PCメール]
- 2 **トレイ／フォルダを選ぶ**
 - 1件削除：メールにカーソルを合わせる ▶  ▶ [削除] ▶ [1件] ▶ [はい]
 - メールを選択削除：  ▶ [削除] ▶ [複数選択] ▶ メールを選ぶ ▶  ▶ [はい]
- 3 **メールを選ぶ**
- 4  ▶ [削除] ▶ [はい]

メールの設定



- 1 待受画面で  ▶ [PCメール]
- 2  ▶ [設定]
 - 全般設定：メール全般について設定します。
 - アカウントを追加：アカウントの追加ができます。
 - プライバシーポリシー：プライバシーポリシーを確認できます。
 - アカウントを選ぶと、署名やメール着信通知など、各アカウントの詳細について設定できます。

ウェブブラウザ



















- バケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。
- サイトを表示すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作についてはP.19「タッチクルーザーEXの利用」
 - ウェブブラウザを利用中に  が動作しなくなったときは、タッチクルーザーEXを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります（P.19「タッチクルーザーEXの利用」）。
 - サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

ブラウザ起動




ブラウザ設定の「ホームページを設定」に設定したページに接続できます。

- 1 待受画面で  ▶ [ホームページ]
 - 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[はい] を選択してください。
 - サイト画面で  ▶ [ホーム] でも接続できます。

サイト画面の操作

- ページの再読み込み／停止：  ▶ [再読み込み] / [停止]
- 音量変更：  ▶ [音量変更] ▶  ▶ 
 - ・再生中に  /  を押しても調節できます。
- 拡大／縮小：  ▶ [拡大縮小] ▶  ▶ 
 - ・  /  を押しても調節できます。
- 文字サイズ変更：  ▶ [文字サイズ変更] ▶  ▶ 
 - ・  /  を押しても調節できます。
- ページの情報を表示：  ▶ [ページ情報]
- ヘルプの表示：  ▶ [ヘルプ]



新しいタブを開く

- 1 サイト画面で  ▶ [新規タブ作成]
 - 複数のタブを表示中は、サイト画面で  ▶ [タブ一覧] ▶  ▶ [新規タブ作成] を選択します。

タブの切替

- 1 サイト画面で  ▶ [タブ一覧]
- 2 **タブを選ぶ**

タブを閉じる

- 1 サイト画面で  ▶ [タブ一覧] ▶ タブにカーソルを合わせる ▶ 

検索／URL入力

URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

1 サイト画面で▶[検索／URL入力]

2 キーワード／URLを入力

- キーワードを入力して検索するときは、ブラウザ設定の[高度な設定]の[検索エンジンの設定]で指定の検索エンジンを使用します。

画像の保存

1 サイト画面で▶[画像保存モード]

- 画像保存モードに切り替わります。

2 ポインタで画像を選ぶ

- タッチクルーザーEXのポインタとは異なります。☒で操作してください。

文字のコピー

1 サイト画面で▶[テキストコピー]

2 ポインタで始点を選ぶ

- タッチクルーザーEXのポインタとは異なります。☒で操作してください。

3 コピーする範囲を指定

4 ▶[コピー]

リンクの利用

選択したリンクを新しいタブで開いたり、リンク先を保存できます。

1 サイト画面でリンクにカーソルを合わせる▶▶[このリンク]

2 [新しいタブで開く]／[リンク先を保存]／[URLをコピー]

ページ内の文字の検索

1 サイト画面で▶[ページ検索]

2 検索する



1 検索終了

2 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

3 前へ

4 次へ

ブックマークの利用

ブックマークの登録

1 サイト画面で▶[ブックマークへ登録]▶

ブックマークからサイト表示

1 待受画面で▶[ブックマーク]


- サイト画面で▶[ブックマーク一覧]でも表示できます。

2 ブックマークを選ぶ

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

サイト閲覧履歴の利用

1 待受画面で▶[履歴]

- サイト画面で▶[履歴]でも表示できます。


2 閲覧時期を選ぶ／[よく使用]▶履歴を選ぶ

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

設定

ブラウザの設定ができます。

1 待受画面で▶[設定]

- サイト画面で▶[設定]でも設定できます。

2 項目を選ぶ

- ホームページを設定：ホームページを設定します。
- 画像の読み込み：ウェブページに画像を表示するか設定します。
- ファイル保存先：ファイルの保存先を設定します。
- プライバシーとセキュリティ：利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- ユーザー補助：テキストの倍率や最小フォントサイズなど画面表示について設定します。
- 高度な設定：サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定をします。

ダウンロード履歴の表示

ダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

1 待受画面で▶[ダウンロード]

- サイト画面で▶[ダウンロード]でも表示できます。

2 履歴を選ぶ

カメラ

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- 電池残量が少ないときは、撮影できません。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- [フォーカス設定] を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なることがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できることがあります。
- 撮影した静止画は、DCF1.0準拠（ExifVer.2.3、JPEG準拠）の形式で保存されます。

■ 著作権・肖像権について

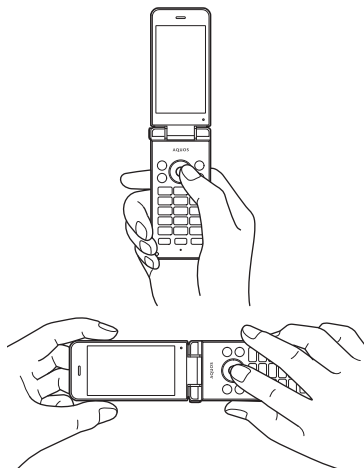
お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

本端末の持ちかた

端末は、図のようにしっかりと持って撮影してください。



カメラを使用中の動作について

- 各カメラモード起動中に約3分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了します。バーコードリーダーで読み取りを行っている場合、読み取り結果は削除されます。
- シャッター音の音量は変更できません。

カメラの撮影サイズ

静止画撮影

画面比率	撮影サイズ
16 : 9	6M : 3264×1836
	FullHD : 1920×1080
4 : 3	8M : 3264×2448
	2M : 1600×1200
	VGA : 640×480

動画撮影

画面比率	撮影サイズ
16 : 9	HD : 1280×720
4 : 3	VGA : 640×480
	QVGA : 320×240

静止画の撮影

1 待受画面で [OK]

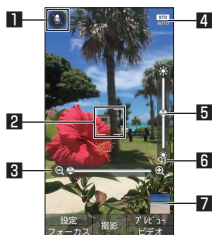
2 本端末のカメラを被写体に向ける

- 明るさの調整： [M]*
 - ズーム： [Z]*
 - 最大倍率（ズームの段階）は約8.0倍（90段階）です。
 - カメラの設定メニューを表示： [C]
 - 撮影した静止画を表示： [R]
 - フォーカスをロック： [L]
 - フォーカス設定が「AF OFF」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。
 - 動画撮影に切替： [V]
 - 画面アイコンの表示／非表示切替： [X]
- ※ 横画面で撮影時は [S] と [M] の操作が入れ替わります。

3 [O]

- シャッター音が鳴り、撮影した静止画を保存します。

静止画撮影画面の見かた



1 音声認識

- 音声認識で撮影します。音声操作設定を「ON」に設定している場合は、「しゃっー」／「はいちーす」／「はいぼーす」のいずれかを送話口／マイクに向かって話すと撮影できます。

2 フォーカスマーク

- 「顔優先AF」を設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。タッチクルーザーEXのポインタで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。

3 ズーム

4 撮影モード

- 撮影モードを切り替えます（☞P.42「静止画撮影の設定」）。

5 明るさ調整

6 撮影可能枚数

- 残り撮影枚数が99枚以下になると表示されます。

7 ミニプレビュー

- 直前に撮影した静止画のサムネイルを表示します。

- タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した静止画を表示します。

- 静止画撮影で横画面にしても、タッチクルーザーEXのポインタの向きは変わりません。

静止画撮影の設定

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 待受画面で [OK] ▶ [C]

2 項目を選ぶ

- ビデオへ切替：動画撮影に切り替えます。
- モード切替：撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えます。
 - 静止画撮影画面で [2] を押しても設定できます。
 - カメラ：「モード切替」で「連写撮影」、「魚眼レンズ」、「ミニチュア効果」、「パノラマ」のとき通常のカメラに切り替えます。
 - おまかせ：被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
 - 標準：標準的なモードです。
 - 人物：人物撮影に適したモードです。
 - 夜景人物：夜景での人物撮影に適したモードです。
 - 風景：風景撮影に適したモードです。
 - 夜景：夜景撮影に適したモードです。
 - 料理：料理を撮影するのに適したモードです。
 - テキスト：文字を撮影するのに適したモードです。
 - セピア：セピア効果で撮影するモードです。
 - モノクロ：モノクロ撮影するモードです。
 - 銀残し：暗部を暗くし、明部を強調した写真を撮影するモードです。
 - 連写撮影：1回の撮影で、12～50枚の写真を撮影するモードです。
 - 魚眼レンズ：魚眼レンズを利用したような歪んだ写真を撮影するモードです。
 - ミニチュア効果：ミニチュアで再現したような風景写真を撮影するモードです。
 - パノラマ：パノラマサイズで写真を撮影するモードです。
 - バーコードリーダー：バーコードリーダーについては☞P.44「バーコードリーダー」
- 自動位置情報付加：位置情報を自動的に付加するか設定し
ます。
 - 静止画撮影画面で [4] を押しても設定できます。
- 撮影サイズ：撮影サイズを設定します。撮影サイズについては☞P.41「カメラの撮影サイズ」
 - 静止画撮影画面で [1] を押しても設定できます。
- 連写種類：「モード切替」で「連写撮影」を設定しているときに、連写の種類を設定します。
- HDR：逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するか設定します。
 - 静止画撮影画面で [6] を押しても設定できます。
- 音声操作設定：音声認識での操作を使用するか設定します。
 - 静止画撮影画面で [5] を押しても設定できます。
- 詳細設定：詳細設定については☞P.43「詳細設定」
- ヘルプ：キー操作のヘルプやHDRのヘルプを表示します。
 - 静止画撮影画面で [7] を押してもキー操作のヘルプを表示
できます。

- 他のモードへ切り替える場合、撮影モードや撮影カメラによってカメラを終了したあと、再度カメラを起動する必要があります。

1 待受画面で [設定] ▶ [詳細設定]

2 項目を選ぶ

- ISO感度：撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
- ホワイトバランス：撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定します。
- シャッターモード：被写体が笑ったときや、振り向いたときに自動で撮影するか設定します。
- セルフタイマー：タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
 - 静止画撮影画面で [3] を押しでも設定できます。
- フォーカス設定：被写体に合わせてフォーカスを設定します。
- 手ぶれ軽減：手ぶれ軽減を利用するか設定します。
 - 静止画撮影画面で [7] を押しでも設定できます。
- ちらつき防止：蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にすじ状の濃淡を出にくくするように設定します。
- 保存先設定：保存先を設定します。

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

【ISO感度】について

- 「ISO感度」を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

1 待受画面で [設定] ▶ [動画]

2 本端末のカメラを被写体に向ける

- 明るさの調整： [4]
- ズーム： [5]
 - 最大倍率（ズームの段階）は約8.0倍（90段階）です。
- カメラの設定メニューを表示： [6]
- 撮影した動画を表示： [7]
- 静止画撮影に切替： [8]
- 画面アイコンの表示/非表示切替： [X]

3 [動画]

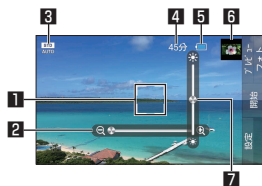
- 撮影開始音が鳴り、撮影を開始します。
- 静止画撮影： [8]

4 [明るさ]

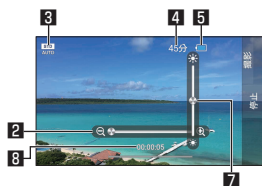
- 撮影停止音が鳴り、撮影した動画を保存します。

動画撮影画面の見かた

- 動画撮影画面は横画面での撮影に適した画面表示となります。横画面で撮影することをおすすめします。



動画撮影前画面



動画撮影中画面

1 フォーカスマーク

- 「標準AF」を設定している場合は、タッチルーターEXのポインタで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。

2 ズーム

3 撮影モード

- 撮影モードを切り替えます（※P.44「動画撮影の設定」）。

4 撮影残時間

5 電池残量

6 ミニレビュー

- 直前に撮影した動画のサムネイルを表示します。

7 明るさ調整

8 撮影時間

- タッチルーターEXのポインタで各アイコンやミニレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した動画を再生します。

動画撮影の設定

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 待受画面で [設定] ▶ [カメラ] ▶ [動画]

2 項目を選ぶ

- カメラへ切替**：静止画撮影に切り替えます。
 - モード切替**：撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えます。
 - **動画撮影画面で [2] を押しても設定できます。**
 - **おまかせ**：被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
 - **標準**：標準的なモードです。
 - **人物**：人物撮影に適したモードです。
 - **風景 (自然)**：風景撮影に適したモードです。
 - **「連写撮影」、「魚眼レンズ」、「ミニチュア効果」、「パノラマ」**については P.42 「静止画撮影の設定」
 - 各項目を選択すると、カメラに切り替わります。
 - **バーコードリーダー**：バーコードリーダーについては P.44 「バーコードリーダー」
 - 選択すると、カメラに切り替わります。
 - 自動位置情報付加**：位置情報を自動的に付加するか設定します。
 - **動画撮影画面で [4] を押しても設定できます。**
 - 撮影サイズ**：撮影サイズを設定します。撮影サイズについては P.41 「カメラの撮影サイズ」
 - **動画撮影画面で [1] を押しても設定できます。**
 - 詳細設定**：詳細設定については P.44 「詳細設定」
 - キー操作ヘルプ**：キー操作のヘルプを表示します。
 - **動画撮影画面で [0] を押しても表示できます。**
- 他のモードへ切り替える場合、撮影モードや撮影カメラによってカメラを終了したあと、再度カメラを起動する必要があります。

詳細設定

1 待受画面で [設定] ▶ [カメラ] ▶ [動画] ▶ [詳細設定]

2 項目を選ぶ

- ホワイトバランス**：撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定します。
- マイク**：マイクを利用するか設定します。
- セルフタイマー**：タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
 - **動画撮影画面で [3] を押しても設定できます。**
- フォーカス設定**：被写体に合わせてフォーカスを設定します。
- ちらつき防止**：蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にすじ状の濃淡を出にくくするように設定します。
- 保存先設定**：保存先を設定します。
- 微速度撮影間隔**：撮影間隔について設定します。

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

バーコードリーダー

カメラをかざしてバーコード (JANコード、QRコード) の情報を読み取ることができます。

■ JANコードとは

- 幅の異なる縦の線 (バー) で数字を表現しているバーコードです。
- JAN8、JAN13を読み取ることができます。

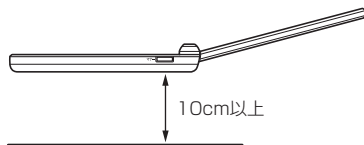
■ QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

1 待受画面で [カメラ] ▶ [バーコードリーダー]

- 明るさの調整： [設定]

2 読み取るバーコードをディスプレイに表示



- ディスプレイの中央に読み取るバーコードを表示させてください。
 - バーコードの真正面からカメラまでを約10cm離して、バーコードや端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
 - 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
 - [設定] を押すと、読み取りを一時的に中断します。 [設定] を押すと読み取りを再開します。
 - バーコードリーダーの設定： [設定] ▶ 各項目を設定
- #### 分割されたデータについて
- QRコードには、分割されたデータ (最大16個) を読み取って1つのデータとなるものがあります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

3 読み取り結果を利用する

- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果を選ぶと利用できます。
- 読み取り結果の登録： [設定] ▶ [読取データ登録]
- 読み取り結果のコピー： [設定] ▶ [全コピー]

- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- ディスプレイ内に複数のバーコードが表示されている場合は、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないことがあります。

歩数計

歩数や歩行距離、消費カロリーなどを記録することができます。歩数の履歴をグラフで表示して、時間別などで比較することもできます。

1 待受画面で **歩数計**

2 **歩数計設定**

3 ユーザー情報の各項目を設定 **CLEAR**

- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定してください。
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、1日に一度リセットされます。

歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

- 端末が不規則に動く場合
 - 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき

- 不規則な歩行をした場合
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき

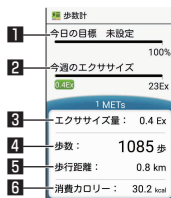
- 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - 立ったり座ったりしたとき
 - スポーツを行ったとき
 - 階段や急斜面を上ったり下ったりしたとき
 - 乗り物（自転車、自動車、電車、バスなど）に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - 受話口／スピーカーから音が出ているとき
 - バイブレータが振動しているとき

- 極端にゆっくり歩いた場合

- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。

- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

歩数計画面の見かた



1 今日の日進達成率 (目標設定時のみ有効)

2 今週のエクササイズ (身体活動) 量

3 今日の日進達成率 (身体活動) 量

4 今日の日進達成率 (身体活動) 量

5 今日の日進達成率 (身体活動) 量

6 今日の日進達成率 (身体活動) 量

歩数計の停止

1 歩数計画面で **歩数計設定**

2 **歩数計ON**

- 歩数計がOFFになります。

ユーザー情報の変更

1 歩数計画面で **歩数計設定**

2 ユーザー情報の各項目を設定

目標設定

1 歩数計画面で **目標設定**

2 各項目を設定

データリセット

1 歩数計画面で **データリセット** ▶ **はい**

累積データの確認

1 歩数計画面で **累積データ**

ヘルプの表示

1 歩数計画面で **ヘルプ**

アラーム

アラームやタイマー、ストップウォッチ、世界時計を利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で **アラーム** ▶ **アラーム**

2 登録先にカーソルを合わせる ▶ **+**

- 登録先の追加: **[追加]**

3 時刻を設定 ▶ **+**

4 各項目を設定



1 名称

- 名称を入力します。

2 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

3 アラーム音

- アラーム音を設定します。

4 バイブ設定

- バイブレータを利用するか設定します。

5 スヌーズ設定

- スヌーズを利用するか設定します。

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

- アラーム鳴動中に別のアラーム設定時刻となったときは、1つ目のアラーム鳴動が停止し、2つ目のアラーム鳴動が開始します。
- アラーム音量を「サイレント」にしているときや、マナーモード設定中にマナーモード中の鳴動を無効に設定しているときはアラーム音は鳴りません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 いずれかのキーを押す

- スヌーズが設定されているときは○を選択してスヌーズを停止します。それ以外のキーを押すとアラームは停止しますが、スヌーズは解除されません。

マナーモード中の鳴動設定

1 アラーム画面で☐▶[設定]

2 [マナーモード中の鳴動]

アラーム消音までの時間の設定

1 アラーム画面で☐▶[設定]

2 [消音までの時間]▶時間を選ぶ

スヌーズ間隔の設定

1 アラーム画面で☐▶[設定]

2 [スヌーズの間隔]▶○▶☐

アラーム音量の設定

1 アラーム画面で☐▶[設定]

2 [アラーム音量]▶○▶○

登録先の削除

1 アラーム画面で☐▶[選択削除]

- 1件削除：アラーム画面で登録先にカーソルを合わせる▶☐▶[1件削除]▶[はい]

2 登録先を選ぶ▶☐▶[はい]

登録内容の初期化

1 アラーム画面で登録先にカーソルを合わせる

2 ☐▶[リセット]▶[はい]

アラームの設定／解除

1 アラーム画面で登録先を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で○▶[アラーム]▶[タイマー]

2 時間を入力

3 ○

- カウントダウンの停止：○
- カウントダウンのリセット：☐
- 設定した時間が経過すると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。停止するには○を押してください。

アラーム音の変更

1 タイマー画面で☐▶[アラーム音]

2 アラーム音を選ぶ▶☐

バイブレータの設定

1 タイマー画面で☐▶[バイブ設定]

名称の変更

1 タイマー画面で☐▶[名称]

2 名称を入力

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して、経過時間（ラップタイム）／合計経過時間（スプリットタイム）を計測できます。

1 待受画面で○▶[アラーム]▶[ストップウォッチ]

2 ○

- ラップタイム、スプリットタイムの計測：☐

3 ○

- 計測結果のリセット：☐

- ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。

世界時計

世界各地の時刻を表示できます。

1 待受画面で○▶[アラーム]▶[世界時計]

2 [追加]

3 都市を選ぶ

サマータイムの切替

1 世界時計画面で都市にカーソルを合わせる▶☐▶[サマータイム切り替え]

- サマータイムに切り替えた都市には、[*]が表示されます。
- 都市によってはサマータイムに切り替えられない場合もあります。

都市の削除

1 世界時計画面で☐▶[選択削除]

- 1件削除：世界時計画面で都市にカーソルを合わせる▶☐▶[削除]▶[はい]

2 都市を選ぶ▶☐▶[はい]

都市の並べ替え

- 1 世界時計画面で[設定]▶[並べ替え]
- 2 並べ替える都市を選ぶ▶[設定]▶[並べ替え]

カレンダー

カレンダーを利用してスケジュールの確認ができます。

- 1 待受画面で[ツール]▶[カレンダー]
- 2 スケジュールを確認する



- 1 表示している年月
- 2 登録されている予定

スケジュール画面の操作

- 登録されている予定の表示：登録されている日付を選ぶ
- 前月/翌月に移動：[前月] / [翌月]

スケジュール画面のサブメニュー操作

- 1 スケジュール画面で[設定]
- 2 項目を選ぶ
 - 予定を作成：新規作成についてはP.47「スケジュールの作成」
 - 当日予定リスト：当日の予定一覧を表示します。
 - 今日へ移動：今日の日付に移動します。
 - 更新：カレンダーを最新の状態に更新します。
 - 設定：設定についてはP.47「スケジュールの設定」
 - 検索：件名を入力して予定を検索します。
 - 表示するカレンダー：表示するカレンダーの種類を設定します。
 - 休日設定：個別に休日を設定します。

スケジュールの作成

- 1 スケジュール画面で[設定]▶[予定を作成]
- 2 各項目を設定▶[設定]

スケジュールの削除

- 1 スケジュール画面で日付を選ぶ
- 2 スケジュールにカーソルを合わせる▶[設定]▶[削除]▶[はい]

スケジュールの設定

- 1 スケジュール画面で[設定]▶[設定]
- 2 項目を選ぶ
 - 全般設定：カレンダー全般について設定します。
 - 本体：表示するカレンダーの種類について設定します。
 - カレンダーについて：アプリケーション情報を確認します。
 - アカウントが表示されている場合は、カレンダーをアカウントと同期させることができます。

メモ帳

メモを作成・管理できます。

メモの登録

- 1 待受画面で[ツール]▶[メモ帳]▶[設定]
- 2 内容を入力▶[設定]

メモの確認

- 1 待受画面で[ツール]▶[メモ帳]
- 2 メモを選ぶ

メモの編集

- 1 メモ詳細画面で[設定]
- 2 内容を編集▶[設定]

メモの送信

- 1 メモ一覧画面で[設定]▶[選択送信]▶送信方法を選ぶ▶メモを選ぶ▶[送信]
 - 送信するための機能が起動します。
 - 1件送信：メモ一覧画面で[設定]▶[1件送信]▶送信方法を選ぶ▶[送信]▶画面の指示に従って操作

メモの削除

- 1 メモ一覧画面で[設定]▶[選択削除]
- 2 メモを選ぶ▶[設定]▶[はい]
 - 1件削除：メモ一覧画面で[設定]▶[1件削除]▶[はい]

メモの検索

- 1 メモ一覧画面で[設定]▶[メモ検索]
- 2 キーワードを入力▶[設定]
- 3 メモを選ぶ

電卓

- 1 待受画面で[ツール]▶[電卓]
- 2 計算する

計算結果のコピー

- 1 計算結果画面で[設定]▶[コピー]

●電卓がバックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

PASSNOW

タブレットとペア設定することで、本端末で撮影した静止画をタブレットの大画面に表示して保存したり、本端末で見ているサイトをタブレットで表示できます。また、本端末やタブレットに届いた通知や着信をお互いにお知らせしたり、近くにペア設定した本端末やタブレットがあるかを鳴動させて探すことができます。本機能では、Bluetooth機能、Wi-Fi機能を利用してタブレットと連携します。あらかじめ本端末とタブレットのいずれもBluetooth機能、Wi-Fi機能を有効にしておいてください。

- PASSNOW以外でBluetooth接続を行っている場合は、PASSNOWの連携機能を利用できないことがあります。
- PASSNOWの連携機能が動作しない場合は、本端末とタブレットのBluetooth機能、Wi-Fi機能を一度無効にして、有効にしてください。
- PASSNOWの情報は、シャープ株式会社のホームページ (<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>) をご参照ください。

ペア設定

本端末とタブレットが通信できるように、ペア設定をします。

iPadをペア設定

- 1 待受画面で **🔍** ▶ **[ツール]** ▶ **[PASSNOW]** ▶ **📷** ▶ **[iPad]**
- 2 iPadで **[設定]** ▶ **[Bluetooth]** ▶ **[SH-N01]**
- 3 **[ペア設定リクエスト]** ▶ iPadに表示されたコードを入力 ▶ **[OK]** ▶ **[OK]**

Android™タブレットをペア設定

ペア設定したいタブレットに、あらかじめPASSNOWをインストールしてください。

- 1 待受画面で **🔍** ▶ **[ツール]** ▶ **[PASSNOW]** ▶ **📷** ▶ **[Android]**
 - カメラが起動します。
- 2 タブレットでPASSNOWを起動
 - ディスプレイにQRコードが表示されます。
- 3 タブレットに表示されたQRコードに本端末のカメラをかざす
 - ディスプレイに表示された枠にQRコードを合わせると、自動的に情報を読み取ります。
 - QRコードにカメラのフォーカスが合わず、自動で読み取れない場合は、**🔍**を押すとフォーカスを調整します。
- 4 画面の指示に従って本端末とタブレットを操作してペアに設定
 - リクエスト画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- ペア設定後、待受画面で **🔍** ▶ **[ツール]** ▶ **[PASSNOW]** を選択すると、ペア設定しているタブレットの端末名が表示されます。**[ペア解除]** ▶ **[はい]** を選択すると、ペア設定を解除できます。

データフォルダからデータの送信

本端末に保存している静止画やテキストデータなどをペア設定したタブレットに送信して、表示・保存できます。

- 1 待受画面で **🔍** ▶ **[データ]**
- 2 データを選ぶ ▶ **📷** ▶ **[送信]** ▶ **[PASSNOW]**

- 静止画一覧画面で静止画にカーソルを合わせて **📷** ▶ **[送信]** ▶ **[PASSNOW]** を選択して送信することもできます。
- 静止画を表示中／静止画一覧画面で静止画にカーソルを合わせて **📷**を押して送信することもできます。

表示中のサイトやブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示

本端末で見ているサイトやブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示できます。

表示中のサイトをペア設定したタブレットに表示

- 1 サイト画面で **🔍**
 - サイト画面で **📷** ▶ **[ページ情報]** ▶ **[ページを共有]** ▶ **[PASSNOW]** でも操作できます。

ブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示

- 1 待受画面で **🔍** ▶ **[ブックマーク]**
 - サイト画面で **📷** ▶ **[ブックマーク一覧]** でも操作できます。
- 2 ブックマークにカーソルを合わせる ▶ **📷** ▶ **[プロパティ]** ▶ **[ブックマーク送信]**
- 3 **[PASSNOW]**

ペア設定したタブレットから受信した電話番号へ発信

ペア設定したタブレットが音声電話に対応していない場合のみ、電話番号を本端末に送信できます。例えば、タブレットでレストランのサイトを閲覧しているときに、そのお店に電話で予約をしたい場合、タブレットに表示された電話番号にタッチすることで、本端末で番号入力することなく電話をかけることができます。

- 1 ペア設定したタブレットから電話番号を送信
- 2 本端末のディスプレイに電話番号が表示されたら **☑**
 - ペア設定したタブレットから受信した電話番号に発信します。

- ご利用になるタブレット／ブラウザアプリ／サイトによっては、電話番号のリンクが設定されていないことがあります。

本端末の着信・通知をペア設定したタブレットに表示

本端末に着信やメール受信などの通知があったときに、ペア設定したタブレットでも着信・通知を表示できます。

- 1 待受画面で **●** ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW]
- 2 [通知連携] ▶ [OK] ▶ [通知連携 (PASSNOW)]
- 3 [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [はい]
 - [通知連携 (PASSNOW)] が [ON] に切り替わります。
 - 本端末に着信やメール受信の通知があると、自動的にペア設定したタブレットに通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度 [通知連携] ▶ [OK] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [はい] を選択してください。

ペア設定したiPadの通知を本端末に表示

ペア設定したiPadにメール受信などの通知があったときに、本端末でも表示できます。

- 1 待受画面で **●** ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW]
 - 2 [通知連携] を有効にする
 - ペア設定したiPadにメール受信などの通知があると、自動的に本端末に通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度、[通知連携] を無効にしてください。
 - 未接続の場合や接続が切れた場合は、**Ⓜ** を押して再接続してください。
- 通知を連携したiPadから通知を受けるとステータスバーに表示されます。ステータスパネルを開き、通知を選択すると通知の詳細を一覧画面で確認できます。
 - iPadで [設定] ▶ [通知] を選択すると、通知を行うアプリを設定できます。

ペア設定したタブレットの着信・通知を本端末に表示

ペア設定したタブレットの着信やメール受信などの通知があったときに、本端末でも表示できます。通知ごとに通知／非通知を設定することもできます。

- 1 ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動
 - 2 通知を連携する「設定」を起動
 - 3 アプリごとに[通知]／[非通知]
 - 4 ON/OFFスイッチをONに設定 ▶ [OK]
 - 5 [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] をONに設定 ▶ [OK]
 - [通知連携 (PASSNOW)] が [ON] に切り替わります。
 - ペア設定したタブレットに着信やメール受信の通知があると、自動的に本端末に通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度、通知を連携する「設定」を起動 ▶ ON/OFFスイッチをOFFに設定 ▶ [OK] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] をOFFに設定 ▶ [OK] を選択してください。
- 通知を連携したタブレットから通知を受けるとステータスバーに表示されます。ステータスパネルを開き、通知を選択すると通知の詳細を一覧画面で確認できます。
 - 通知を行うアプリによっては、通知が連携できない場合があります。
 - ペア設定したタブレットがサイレントマナー設定中は、通知が連携できない場合があります。

ペア設定したタブレットからSMSを送信

本端末に着信があった際、電話に出られないときにペア設定したタブレットからSMS（定型文）を送信することができます。

- 1 本端末に電話がかかってくる
- 2 ペア設定したタブレットで[クイック返信] ▶ メッセージを選ぶ
 - 電話をかけてきた相手にSMSが送信されます。

ペア設定した本端末やタブレットを鳴動させて探す

ペア設定した本端末やタブレットが周囲にあるか、お互いを鳴動させて探すことができます。

- 1 待受画面で **●** ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW]
 - タブレットから本端末を呼び出す：ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動
 - 2 [ペア端末呼び出し] ▶ [呼び出す]
 - 呼び出された本端末やタブレットが鳴動します。[停止] を選択すると呼び出し音が停止します。
 - 呼び出しできないと失敗画面が表示されます。
- 呼び出し音の音量は変更できません。

ペア設定したタブレットで本端末の写真／動画を を取り込む

本端末で撮影した写真／動画をペア設定したタブレットから閲覧したり、タブレットに保存することができます。

1 ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動▶ [コンテンツ選択]

- 本端末で撮影した写真／動画が一覧表示されます。写真／動画を選択後、[保存]を選択するとタブレットにデータが保存されます。
- この機能は、ペア設定したタブレットがWi-Fiテザリング中の場合には利用できません。
- ご利用のタブレットのデバイス名もしくはWi-Fi Directのデバイス名に、長い日本語が設定されている場合は、この機能を利用できないことがあります。日本語を短くするか、半角英数字に変更してご利用ください。
- ご利用のタブレットが5GHz帯のWi-Fiに接続している場合、タブレットの機種によっては本機能がご利用できないことがあります。その際は、タブレット側でWi-Fiのアクセスポイントとの接続を一時的に切断してご利用ください。

データ引継

microSDカードを利用して、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのバックアップデータを本端末の本体メモリに取り込んだり、本端末のデータをバックアップ／復元することができます。また、携帯電話のデータを赤外線通信機能を利用して取り込んだり、スマートフォンの電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - SMS
 - ブックマーク
 - カレンダー
 - メモ帳
 - ユーザー辞書／学習辞書（SH文字入力）
- microSDカードにバックアップ中は[機内モード]が有効になります。
- 本体メモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDカードにバックアップできません。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 待受画面で◎▶[ツール]▶[データ引継]

2 項目を選ぶ

- **開始**:microSDカードにデータを保存したり、microSDカード、赤外線通信、Bluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
 - **従来の携帯電話から**:赤外線通信、microSDカードを利用します。
 - **スマートフォンから**:microSDカード、Bluetooth機能を利用します。
 - **データ保存**:microSDカードにデータを保存します。
- **取り込み前の準備方法**:データ引継を使用する前の準備方法を表示します。

microSDカードにバックアップファイルを保存

- 1 待受画面で◎▶[ツール]▶[データ引継]
- 2 [開始]▶[データ保存]▶暗証番号を入力
- 3 保存するデータカテゴリを選ぶ
- 4 ▶[はい]
- 5 ◎

- 電池残量が少ないときは保存できません。

バックアップファイルの設定・管理

1 待受画面で◎▶[ツール]▶[データ引継]▶

2 項目を選ぶ

- **保存ファイルの整理**:保存されているバックアップデータを削除できます。
- **電話帳画像保存**:電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- **結果画面閲覧**:最新のバックアップファイルの保存／取り込みの結果を表示します。

microSDカードに保存したバックアップファイルの取り込み

- 1 待受画面で◎▶[ツール]▶[データ引継]
 - 2 [開始]
 - 3 [従来の携帯電話から]／[スマートフォンから]▶[microSD]／[microSD経由]
 - 4 ◎▶暗証番号を入力
 - 5 取り込むバックアップファイルを選ぶ
 - 6
- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ユーザー辞書／学習辞書（SH文字入力）を取り込む場合、本体メモリに保存されているユーザー辞書／学習辞書（SH文字入力）のデータが削除されますので、ご注意ください。

携帯電話から赤外線通信機能を利用してデータを取り込む

- 赤外線通信についてはP.65「赤外線通信」

- 1 待受画面で◎▶[ツール]▶[データ引継]
- 2 [開始]▶[従来の携帯電話から]▶[赤外線]
- 3 ◎▶認証コードを入力▶
- 4 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

スマートフォンからBluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

- 1 待受画面で**☉**▶[ツール]▶[データ引継]
- 2 [開始]▶[スマートフォンから]▶[Bluetooth経由]
- 3 **☉**
- 4 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする▶**☉**
- 5 取り込み元の端末を選ぶ▶**☉**
 - ペア設定の確認画面が表示された場合は [ペア設定する] を選択してください。
 - 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。
- 6 **☉**
- 7 [追加登録] / [削除して登録]
 - 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[[はい]] を選択してください。
- 8 [OK]

ウィジェットシート

ウィジェットを貼り付けて利用できます。

- 1 待受画面で**☉**▶[ツール]▶[ウィジェットシート]
- 2 **☐**▶[貼る]▶ウィジェットを選ぶ

ウィジェットの移動

- 1 ウィジェットシート画面で**☐**▶[移動する]
- 2 ウィジェットを選ぶ▶移動先を選ぶ

ウィジェットをはがす

- 1 ウィジェットシート画面で**☐**▶[はがす]
- 2 ウィジェットを選ぶ

ウィジェットの大きさを変更

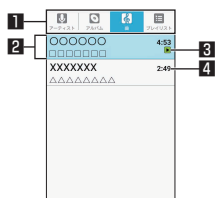
- 1 ウィジェットシート画面で**☐**▶[大きさを変更する]
- 2 ウィジェットを選ぶ▶**⊗**で大きさを変更▶**☉**

ミュージック

本体メモリまたはmicroSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生できます。

- 再生できる音楽データの主なファイル形式は次のとおりです。
AAC-LC、HE-AACv1、HE-AACv2、AAC-ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、Vorbis、PCM/WAVE

- 1 待受画面で**☉**▶[アプリ]▶[ミュージック]

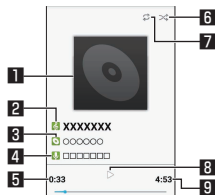


1 カテゴリ

- ☉**でカテゴリのタブを切り替えます。

- 2 タイトル／アーティスト名／アルバム名
- 3 再生中／一時停止中の音楽データ
- 4 総再生時間

- 2 音楽データを選ぶ



1 ジャケット画像

2 タイトル

3 アルバム名

4 アーティスト名

5 再生時間

6 シャッフル

- ☒：シャッフルOFF / ☒：シャッフルON

7 リピート

- ☒：リピートOFF / ☒：1曲リピート / ☒：全曲リピート

8 再生中 / ☐：一時停止中

9 総再生時間

音楽データ再生中の操作

再生音量の調節や前後の音楽データの再生、バックグラウンドで再生できます。

- 再生音量調節：**☉**
 - 前の音楽データを再生* / 頭出し：**☉**
 - 次の音楽データを再生：**☉**
 - 巻戻し：**☉** (1秒以上)
 - 早送り：**☉** (1秒以上)
 - バックグラウンドで再生：再生中に**☐**▶[[はい]]
- *再生時間が約0秒のときに前の音楽データを再生します。

音楽データ一覧画面のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 音楽データ一覧画面で☐

2 項目を選ぶ

- ☐ **すべて再生**：表示中の音楽データをすべて再生します。
- ☐ **すべてシャッフル**：表示中の音楽データをすべてシャッフルして再生します。
- ☐ **プレイリスト保存**：表示中の音楽データを新しいプレイリストに保存します。
- ☐ **再生**：カーソル位置の音楽データを再生します。
- ☐ **プレイリストに追加**：プレイリストに追加については
☞ P.52 「プレイリストの作成」
- ☐ **プレイリスト内削除**：カーソル位置の音楽データをプレイリスト内から削除します。
- ☐ **着信音に設定**：カーソル位置の音楽データを着信音に設定します。
- ☐ **削除**：カーソル位置の音楽データを削除します。
- ☐ **検索**：カーソル位置の音楽データをウェブブラウザで検索したり、端末の「ミュージック」内を検索したりします。

プレイリストの管理

プレイリストの作成

1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせる▶☐▶[プレイリストに追加]

2 [新規]▶プレイリスト名を入力▶[保存]

プレイリスト名の変更

1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる

2 プレイリストにカーソルを合わせる▶☐▶[名前を変更]

3 プレイリスト名を入力▶[保存]

音楽データの並べ替え

1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる

2 プレイリストを選ぶ▶音楽データにカーソルを合わせる

3 ☐▶変更先を選ぶ▶☐

プレイリストの削除

1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる

2 プレイリストにカーソルを合わせる▶☐▶[削除]▶[はい]

家族あんしん通知

設定時刻になると、登録した送信先にSMSで情報を送信します。本端末をご利用になっている方のご様子を、本端末のご利用状況を通じて、離れたところからでもご確認いただくことができます。

- 送信先は3件まで、送信時刻は3回まで登録できます。

1 待受画面で☉▶[アプリ]▶[家族あんしん通知]

2 項目を選ぶ

- ☐ **家族あんしん通知**：家族あんしん通知を利用するか設定します。
- ☐ **送信先**：SMSの送信先を設定します。
- ☐ **送信時刻**：SMSの送信時刻を設定します。
- ☐ **歩数**：当日の送信時刻までの歩数を送信するか設定します。
- ☐ **端末開いた回数**：当日の送信時刻までの端末を開いた回数を送信するか設定します。
- ☐ **電池残量**：電池残量を送信するか設定します。
- ☐ **電話発着信回数**：当日の送信時刻までの電話の発着信回数を送信するか設定します。
- ☐ **通話時間**：当日の送信時刻までの通話時間を送信するか設定します。

本体設定

設定メニュー

待受画面で ▶ [設定] を選択して表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- **壁紙・ディスプレイ**：画面表示などについて設定します。
- **音・バイブ**：マナーモードや着信音、バイブレーションなどについて設定します。
- **セキュリティ**：セキュリティロックについて設定します。
- **省エネ・電池**：長工ネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。
- **Wi-Fi**：Wi-Fi機能について設定します。
- **Bluetooth**：端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
- **ネットワーク**：機内モードやVPNなどネットワークについて設定します。
- **位置情報**：位置情報の測位について設定します。
- **クイック起動キー**：クイック起動キーについてはP.30「クイック起動キーの利用」
- **その他**：日付と時刻、セルフチェックなどについて設定します。

壁紙・ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- 待受画面・壁紙**：待受画面・壁紙についてはP.53「待受画面・壁紙」
- 画面の明るさ**：画面の明るさについてはP.53「画面の明るさ」
- バックライト点灯時間**：バックライトの点灯時間を設定します。
- 文字サイズ・フォント**：文字サイズやフォントについて設定します。
- のぞき見防止**：のぞき見防止についてはP.53「のぞき見防止」
- リラックス画質**：目に優しい画質にするか設定します。

[バックライト点灯時間] について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[文字サイズ・フォント] について

- ダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

待受画面・壁紙

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [待受画面・壁紙]

2 項目を選ぶ

- 壁紙**：待受画面の画像を設定します。
 - 端末を開くたびに壁紙を変更：[ライブ壁紙] ▶ [お気に入り] / [ネクサス] / [フェーズビーム] / [水] / [草原] ▶ 画面の指示に従って操作
- 時計表示**：時計の種類や表示について設定します。
- 歩数計**：歩数計を表示するか設定します。
- カレンダー表示**：カレンダーの表示について設定します。
- 通知アイコン**：通知アイコンを表示するか設定します。
- クイック起動キー**：クイック起動キーを表示するか設定します。

画面の明るさ

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [画面の明るさ]

2

- 画面の明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

のぞき見防止

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [のぞき見防止]

2 項目を選ぶ

- のぞき見防止**：のぞき見防止を有効にするか設定します。
- 表示パターン**：表示パターンを設定します。
- 見栄え補正**：正面からの見栄えを調整します。

[のぞき見防止] について

- 電源を切ると [のぞき見防止] が無効になります。

[表示パターン] について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

音・バイブ

マナーモードや着信音、バイブレーションなどについて設定します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[音・バイブ]

2 項目を選ぶ

- マナーモード設定：マナーモード設定については
☞P.54「マナーモード設定」
- 音量：着信音やアラーム音、音楽や動画再生時などの音量を設定します。
- 着信音・お知らせ音：着信時やお知らせ受信時などの動作について設定します。
 - 着信時の点滅パターンと点滅カラーの設定：[電話着信]▶[点滅パターン] / [点滅カラー]▶パターン/カラーを選ぶ▶
 - 着信ランプの点滅設定：[お知らせ]▶[点滅させて通知]
- 全般：全般については☞P.54「全般」
- 通知：通知については☞P.54「通知」

マナーモード設定

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[音・バイブ]▶[マナーモード設定]

2 マナーモードの種類を選ぶ

- 通常マナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。簡易留守録設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
- ドライブマナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。簡易留守録が有効になり、応答メッセージ設定が[ドライブ]で動作します。
- サイレントマナー：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。簡易留守録設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
- OFF：マナーモードを解除します。

ワンタッチでマナーモードの設定/解除

1 待受画面で (1秒以上)

- 端末を閉じているとき： (1秒以上)
- 設定する場合は、直前に設定していたマナーモードに切り替えます。
- (1秒以上)▶ / / / でもマナーモードを設定/解除できます。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 静止画撮影時のフォーカスロック音
 - 動画撮影時の開始音/停止音
 - PASSNOWの呼び出し音
- マナーモード設定中は、メディア再生音(音楽や動画など)は消音になりますが、各画面でを押して音量を上げることができます。
- マナーモード設定中は、を押しても着信音量を変更できません。

全般

1 待受画面で◎▶[設定]▶[音・バイブ]▶[全般]

2 項目を選ぶ

- 画面ロックの音：画面ロック時に音を鳴らすか設定します。
- 充電開始音：充電開始時に音を鳴らすか設定します。
- キー操作音：キーを押したときに操作音を鳴らすか設定します。
- 操作時バイブ：キーを1秒以上押したときに機能が実行される場合などにバイブレータを動作させるか設定します。
- キーバックライト：キーバックライトを点灯するか設定します。
- サイドマナーキー長押し：端末を閉じているとき、サイドキーを1秒以上押ししてマナーモードを設定/解除させるか設定します。

通知

1 待受画面で◎▶[設定]▶[音・バイブ]▶[通知]

2 項目を選ぶ

- 画面ロック中の表示：ロック画面に表示する通知について設定します。
- アプリの通知：通知の表示/非表示や優先度を、アプリごとに設定します。
- 通知へのアクセス：通知にアクセスできるアプリを確認できます。

[画面ロック中の表示]について

- 設定項目は次のとおりです。
 - すべての通知：ロック画面に通知を表示します。
 - プライベートな通知以外：ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - 画面のロックを[ロックNo.] / [パスワード]に設定しているときに利用できます。
 - 表示しない：ロック画面に通知を表示しないようにします。

セキュリティ

セキュリティロックについて設定します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[セキュリティ]

2 項目を選ぶ

- セキュリティキー設定：セキュリティキー設定については☞P.56「セキュリティキー設定」
- 画面のロック：電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのロック解除方法について設定します。
- シークレット設定：シークレット設定については☞P.55「シークレット設定」
- SIMカードロック設定：SIMカードロック設定については☞P.56「SIMカードロック設定」
- 提供元不明のアプリ：提供元不明のアプリのインストールを許可します。
- 高度な設定：高度な設定については☞P.56「高度な設定」

【画面のロック】について

- 入力を5回連続して間違えると、30秒間入力ができません。
 - 設定項目は次のとおりです。
 - なし：ロック画面を表示しません。
 - ロックNo.：4～16桁の数字を設定します。
 - パスワード：英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号*を設定します。
※一部の半角記号は利用できません。
- ロックNo./パスワードを忘れた場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせください。

【提供元不明のアプリ】について

- ダウンロードするアプリは情報源が不明な場合もあります。端末と個人データを保護するため、信頼できる情報源からのアプリのみダウンロードしてください。

シークレット設定

電話帳の連絡先にシークレット属性を設定し、電話帳に表示されないようにすることができます。

- 通常時、本端末はシークレットモードの状態です。
- シークレットモードを一時解除すると、通常の連絡先とシークレット属性設定した連絡先の両方が表示されます。
- シークレットモードの一時解除中に、ディスプレイの表示が消えたり、端末を閉じたりすると、シークレットモードになります。

1 待受画面で◎▶▶【設定】▶▶【セキュリティ】▶▶【シークレット設定】

2 暗証番号を入力

- シークレットモードが一時解除されます。

3 [OK]

4 項目を選ぶ

- **連絡先シークレット設定**：電話帳の連絡先にシークレット属性を設定します。
- **一時解除の設定**：シークレットモードを一時解除するときのセキュリティキーを変更します。
- **使い方ガイド**：シークレットモード一時解除の方法やシークレット設定した電話帳の連絡先についての説明を表示します。

シークレットモード中の動作について

- 次の場合は、電話帳に登録した名前は表示されず、電話番号のみが表示されます。
 - 電話の発着信画面
 - 発信履歴／着信履歴一覧画面
- 次の場合は、電話帳に登録した名前は表示されず、メールアドレスまたは電話番号のみが表示されます。
 - SMSの宛先／送信元

バックアップ／データ送信について

- 次の場合は、シークレットモード一時解除中にシークレット属性設定した連絡先を含めたすべての連絡先が、バックアップ／データ送信の対象となります。
 - SDカードバックアップでバックアップしたとき*
 - 電話帳から連絡先を全件送信したとき
 - 赤外線通信で連絡先を送信したとき
- ※ シークレットモード中も可能です。
- バックアップ／データ送信した連絡先にはシークレット属性は引き継がれません。

- シークレットモード中は電話帳のクラウドにシークレット属性設定した連絡先は同期されません。電話帳のクラウドにシークレット属性設定した連絡先を同期させるには、シークレットモードを一時解除し、電話帳からクラウドの同期の停止を行います。再度電話帳からクラウドの利用を開始し、「端末の電話帳データを利用」を選択して同期させてください。

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・] で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

【セキュリティキー（各種機能用の暗証番号）

各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。お買い上げ時のセキュリティキーは【暗証番号】（【0000】）に設定されていますが、お客様ご自身で変更できます（※P.56「セキュリティキー設定」）。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

【PINコード

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード (PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、nanoSIMカードの販売元にお問い合わせください。

セキュリティキー設定

1 待受画面で◎▶[設定]▶[セキュリティ]▶[セキュリティキー設定]

2 暗証番号を入力

- お知らせ画面が表示されたら [OK] を選択してください。

3 項目を選ぶ

- 暗証番号: 4~16桁の数字を設定します。
- パスワード: 英字1文字以上を含んだ、4~16桁の英数字と半角記号*を設定します。
※一部の半角記号は利用できません。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[セキュリティ]▶[SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

- SIMカードをロック: 電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- SIM PINの変更: PINコードを変更します。

- 日本国内ではnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定はnanoSIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力

高度な設定

1 待受画面で◎▶[設定]▶[セキュリティ]▶[高度な設定]

2 項目を選ぶ

- 端末の暗号化: 端末の暗号化についてはP.56「端末の暗号化」
- デバイス管理機能: アプリのデバイス管理機能を設定します。
- ストレージのタイプ: ストレージのタイプを表示します。
- 安全な認証情報の使用: 安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
- 証明書をインストール: 暗号化された証明書をインストールします。
- 認証ストレージの消去: すべての認証情報を削除します。
- 画面の固定: 選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法についてはP.29「アプリ使用履歴の利用」
- 使用履歴へのアクセス: 使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

端末の暗号化

端末内のデータを暗号化します。

- 端末の暗号化を解除するには、オールリセットを行う必要があります(P.60「オールリセット」)。
- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[セキュリティ]▶[高度な設定]

2 [端末の暗号化]

- 画面のロックを [ロックNo.] / [パスワード] に設定している場合、ロックを解除してください。

3 [携帯端末を暗号化]

- 画面のロックを [ロックNo.] / [パスワード] に設定している場合、端末を起動するときに、ロックを解除してください。
 - 端末の暗号化を行った場合、端末を起動する際にロック解除を行うようにするか、画面のロックを設定するときに選択できます(P.54「セキュリティ」)。

- 端末の暗号化が中断された場合、端末内のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- 端末起動時のロック解除の際、ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えると、電源を入れ直すまで入力できません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、ご注意ください。

省エネ・電池

長エネスイッチ設定や電池残量の確認を行います。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[省エネ・電池]

2 項目を選ぶ

- 長エネスイッチ: 長エネスイッチについてはP.56「長エネスイッチ」
- 電池: 電池残量や電池消費量の変化などを、視覚的に確認できます。

長エネスイッチ

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[省エネ・電池]▶[長エネスイッチ]

2 項目を選ぶ

- 長エネスイッチ: 長エネスイッチを利用するか設定します。
- 長エネスイッチの概要: 機能の説明を表示します。
- 詳細設定: 制限する機能を個別に設定します。
- 電池残量で切替: 設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動で [ON] にするか設定します。
- 切替条件設定: [電池残量で切替] で長エネスイッチを [ON] にする電池残量を設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチは [OFF] になります。
- [電池残量で切替] によって長エネスイッチが [ON] になっているとき、[電池残量で切替] を無効にしても長エネスイッチは [OFF] になりません。

ネットワーク

機内モードやVPNなどネットワークについて設定します。

1 待受画面で②▶[設定]▶[ネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **機内モード**：電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **データ通信設定**：データ通信設定についてはP.57「データ通信設定」
- **ネットワーク設定**：次の設定を行うことができます。
 - **テザリング**：テザリングについてはP.29「テザリング」
 - **VPN設定**：VPN設定についてはP.57「VPN（仮想プライベートネットワーク）」
 - **モバイルネットワーク**：モバイルネットワークについてはP.58「モバイルネットワーク」
 - **デフォルトのSMS**：SMSを送受信するアプリを確認できます。
 - **プロキシ設定**：プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。

[機内モード] について

- [SIMカードをロック] が有効の場合は、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。[SIMカードをロック] が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード] がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード] がONの場合でも、[Wi-Fi] や [Bluetooth] をONにすることができます。

データ通信設定

1 待受画面で②▶[設定]▶[ネットワーク]▶[データ通信設定]

2 項目を選ぶ

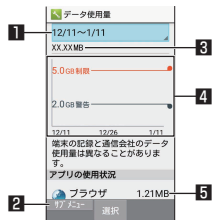
- **データ使用量**：データ使用量についてはP.57「データ使用量」
- **データ通信制限**：アプリごとにモバイルネットワークでの通信を制限します。

データ使用量

モバイルネットワーク経由やWi-Fi経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。また、設定した通信量に達したときに警告を表示したり、それ以上データ通信を行わないように設定したりすることができます。

1 待受画面で②▶[設定]▶[ネットワーク]▶[データ通信設定]▶[データ使用量]

2 データ通信量を確認する



1 データ使用サイクル

- データ通信量の表示をリセットする日を設定します。

2 サブメニュー

- データ通信量に制限を設け、制限値に達した場合にデータ通信を停止したり、バックグラウンドで動作しているアプリのデータ通信を制限したりできます。Wi-Fi経由のデータ通信量の表示もできます。

3 指定期間内のデータ通信量

4 グラフ

- データ通信量を表示します。

5 アプリの使用状況

- データ通信を使用したアプリを表示します。

- データ通信量が [制限サイズ] に達し、データ通信が利用できなくなった場合は、データ使用量の画面で④▶ [モバイルデータの制限] を無効にしたり、[制限サイズ] を変更したりすると、データ通信を再開できます。また、「モバイルデータが無効になりました。」と表示された場合は、[データ接続を有効にする] を選択すると、データ通信を再開できます。
- データ使用量で表示される通信量は携帯端末で記録した目安の数値となります。

VPN（仮想プライベートネットワーク）

VPNの追加

VPN（Virtual Private Network）とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面のロックをロックNo.またはパスワードに設定しておいてください（P.54「セキュリティ」）。

1 待受画面で②▶[設定]▶[ネットワーク]▶[ネットワーク設定]▶[VPN設定]

2 ④▶[VPNプロフィールの追加]

3 各項目を設定▶④

VPNの接続

1 待受画面で②▶[設定]▶[ネットワーク]▶[ネットワーク設定]▶[VPN設定]

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力▶④

VPNの切断

1 待受画面で②▶ステータスバーを選ぶ

2 VPN有効化の通知を選ぶ▶[切断]

モバイルネットワーク

データ通信やデータローミング、アクセスポイントなどの設定をします。

1 待受画面で **設定** ▶ **ネットワーク** ▶ **ネットワーク設定** ▶ **モバイルネットワーク**

2 項目を選ぶ

- **データローミング**：データローミングを使用するか設定します。
- **4Gを利用する**：4Gを利用するか設定します。
- **アクセスポイント名**：アクセスポイント名については [P.27](#) 「アクセスポイントの設定」
- **通信事業者**：通信事業者については [P.58](#) 「通信事業者」

通信事業者

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 待受画面で **設定** ▶ **ネットワーク** ▶ **ネットワーク設定** ▶ **モバイルネットワーク** ▶ **通信事業者**

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、**[OK]** を選択してください。
- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、データ通信を有効にするを **[OFF]** にし ([P.58](#) 「モバイルネットワーク」)、再度操作してください。

2 通信事業者を選ぶ

- 通信事業者の再検索：[ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択：[自動的に選択]

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 待受画面で **設定** ▶ **位置情報**

2 項目を選ぶ

- **位置情報**：位置情報を利用するか設定します。
 - 確認画面が表示された場合は、**[同意する]** / **[同意しない]** を選択してください。
- **モード**：GPS衛星や携帯電話の基地局を利用して位置情報を測位するモードを設定します。
 - 最近の位置情報リクエストがある場合は、選択するとアプリの情報を確認できます。

● 現在地を測位するためには、位置情報を **[ON]** に設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、位置情報を **[ON]** に設定する必要があります ([P.58](#) 「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい状態のため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内
 - 大雨や雪などの悪天候
 - かばんや箱の中
 - 端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
 - GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく内容が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得することがあります。

その他

日付と時刻、セルフチェックなどについて設定します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]

2 項目を選ぶ

- **アプリケーション**：アプリケーションについては☞P.59「アプリケーション」
- **日付と時刻**：日付と時刻については☞P.59「日付と時刻」
- **セルフチェック**：セルフチェックについては☞P.59「セルフチェック」
- **ストレージ**：ストレージについては☞P.59「ストレージ」
- **言語 (Language) を選択**：日本語表示／英語表示を選択します。
- **アカウント**：利用するアカウントを確認できます。
- **端末情報**：端末情報については☞P.60「端末情報」
- **スクリーンセーバー**：スクリーンセーバーを利用するか設定します。
- **ソフトキーボード**：ソフトキーボードについては☞P.60「ソフトキーボード」
- **ユーザー補助**：ユーザー補助については☞P.60「ユーザー補助」
- **オールリセット**：オールリセットについては☞P.60「オールリセット」

【言語 (Language) を選択】について

- 言語変更をしたときに時間がかかる場合があります。

アプリケーション

アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[アプリケーション]

2 アプリを選ぶ

アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずに起動させないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[アプリケーション]

2 アプリを選ぶ▶[無効にする]▶[はい]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

アプリの有効

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[アプリケーション]

2 アプリを選ぶ▶[有効にする]

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日時の自動設定**：日時を自動的に補正するか設定します。
- **タイムゾーンの自動設定**：ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **日付設定**：日付を手動で設定します。
- **時刻設定**：時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーンの選択**：タイムゾーンを手動で設定します。
- **24時間表示**：12時間制／24時間制を切り替えます。

【日時の自動設定】を有効にしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

セルフチェック

端末のセルフチェックを行います。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[セルフチェック]

2 ◎▶項目を選ぶ▶◎

- セーフモードで再起動：☑▶[OK]

3 ◎

- 表示項目の診断開始：◎
- 診断の中止：☒▶[はい] / [次の項目]
- 診断履歴を選択すると、結果を確認することができます。

ストレージ

microSDカードや端末などの空き容量の確認、情報更新などができます。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[ストレージ]

2 項目を選ぶ

- **microSDをマウント／microSDのマウント解除**：microSDカードをマウント／マウント解除します。
- **microSD内データを消去**：microSDカードを初期化します。
- **microSDの暗号化／microSDの暗号化解除**：microSDカードの暗号化／暗号化解除をします。
- **情報更新**：コンテンツの情報を更新します。
- **USB接続**：USB接続については☞P.60「USB接続」

【microSDをマウント】、【microSDのマウント解除】について

- microSDカードの取り付け／取り外しは、microSDカードをマウント解除し、電源を切ってから行ってください。

【microSD内データを消去】について

- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

【microSDの暗号化】、【microSDの暗号化解除】について

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態でオールリセットを行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。オールリセットを行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。

- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

USB接続

端末を付属のmicroUSBケーブルでパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[ストレージ]▶[USB接続]

2 項目を選ぶ

- MTPモード：MTP対応のパソコンで本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送するときのモードです。
- PTPモード：PTP対応のパソコンで本体メモリに画像を転送するときのモードです。
- カードリーダーモード：端末に挿入したmicroSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用するときのモードです。

- 大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[端末情報]

2 項目を選ぶ

- ビルド番号：ビルド番号を確認できます。
- 端末の状態：電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- ソフトウェア更新：ソフトウェア更新についてはP.73「ソフトウェア更新」
- 法的情報：著作権情報、オープンソースライセンスを確認できます。
- 認証：技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- モデル番号：モデル番号を確認できます。
- OSバージョン：OSバージョンを確認できます。
- OSセキュリティパッチ：OSセキュリティパッチのバージョンを確認できます。
- ベースバンドバージョン：ベースバンドバージョンを確認できます。
- カーネルバージョン：カーネルバージョンを確認できます。

ソフトキーボード

S-Shoin、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[ソフトキーボード]

2 項目を選ぶ

- S-Shoin：S-Shoinを利用するか設定します。設定できる各項目についてはP.25「文字入力の設定」
- テキスト読み上げの出力：端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
※日本語には対応していません。
- ポインタの速度：ポインタの速度を設定します。
- 送信時文字コード設定：アプリからデータ送信するときの文字コードを設定します。
- 現在のキーボード：文字入力時に使用する入力ソフトを設定します。

キーボードについて

- 日本語を入力するときにはS-Shoinを利用してください。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- 通知連携（PASSNOW）：通知連携（PASSNOW）を利用するか設定します。
- KeyTranslator：KeyTranslatorを利用するか設定します。
- 字幕：字幕の表示について設定します。
- 大きい文字サイズ：端末に表示される文字のサイズを大きくするか設定します。
- パスワードの音声出力：パスワードの音声出力を利用するか設定します。
- テキスト読み上げの出力：端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
※日本語には対応していません。

オールリセット

本体メモリ内のすべてのデータを消去します。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[オールリセット]

2 [携帯端末をリセット]▶[暗証番号を入力]▶[すべて消去]

- [microSD内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。

- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 設定メニューで設定した内容
 - ダウンロードしたアプリ
- 電池残量が19%以下の場合にはオールリセットできません。

本体メモリ（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

- **Alarms**：アラーム音などが保存されます。
- **Android**：インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
- **DCIM**：端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
- **Download**：ウェブブラウザでダウンロードしたファイルが保存されます。
- **Movies**：動画などが保存されます。
- **Music**：音楽データなどが保存されます。
- **Notifications**：お知らせ音などが保存されます。
- **Pictures**：静止画などが保存されます。
- **Podcasts**：ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
- **PRIVATE**：静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
- **Ringtones**：着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

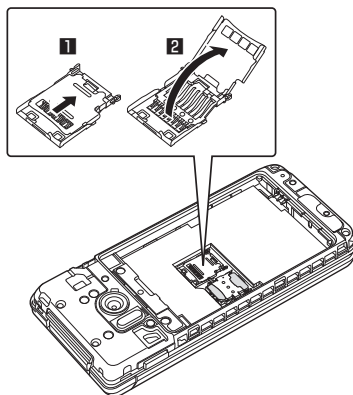
端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-N01では市販の2GBバイトまでのmicroSDカード、32GBバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。また、スピードクラス*は最大Class 10まで使用できます（2016年10月現在）。
※スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shn01/peripherals/microsd.html>
- 利用できるファイルのサイズは、1ファイル2GBバイトまでです。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります（☞P.59「ストレージ」）。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管して下さるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け/取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（☞P.11「リアカバーの取り付けかた」）、電池パック（☞P.22「電池パックの取り付けかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手しっかり持ってください。取り付け/取り外しが終わったら、リアカバー（☞P.11「リアカバーの取り付けかた」）、電池パック（☞P.22「電池パックの取り付けかた」）を取り付けてください。

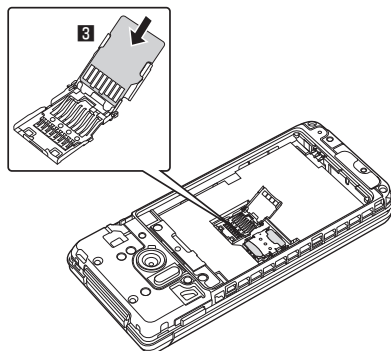
microSDカードの取り付けかた

- 1 microSDカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(❶)、開く(❷)

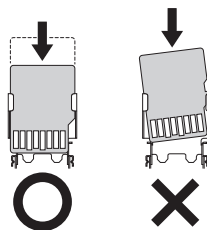
- 「カチッ」と音がするまで、microSDカードスロットカバーをスライドさせてください。



- 2 microSDカードの金属端子面を上に向けてゆっくりと挿入する(❸)

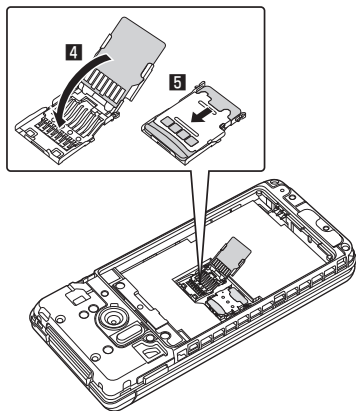


- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に押し込まないでください。microSDカードスロットカバーが破損することがあります。



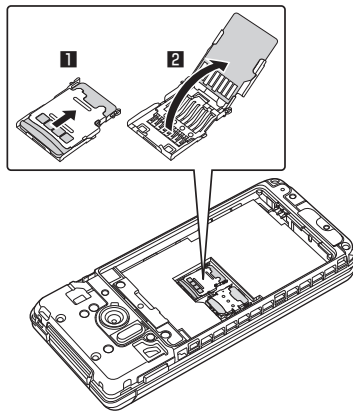
3 microSDカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)

- 「カチッ」と音がするまで、microSDカードスロットカバーをスライドさせてください。



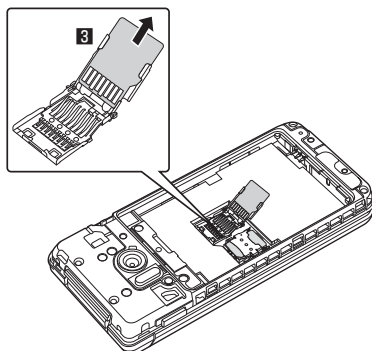
microSDカードの取り外しかた

1 microSDカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)

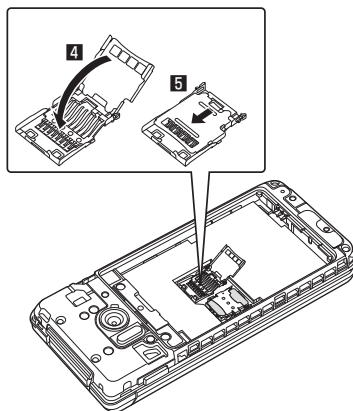


2 microSDカードを取り外す(3)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



3 microSDカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)



ファイル操作

本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを種類ごとに分類して、再生/表示、管理をすることができます。

1 待受画面で◎▶[データ]

2 カテゴリを選ぶ

- 写真：カメラで撮影した静止画を表示します。
- 画像：ダウンロードした画像などを表示します。
- 音楽：音楽などを表示します。
- 動画：動画を表示します。
- 書類：パソコンなどで作成されたMicrosoft Word/Excel/PowerPointやPDFのデータ、テキストデータを表示します。
- その他：その他のデータを表示します。
- ユーザーフォルダ：ユーザーフォルダを表示します。

3 データを選ぶ

- データの種別に応じたアプリが起動し、データを再生/表示します。

- データフォルダで表示されるデータの中には、表示や再生ができないものもあります。
- データサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できなかったりすることがあります。

データ保存先の表示変更

1 待受画面で◎▶[データ]

2 カテゴリを選ぶ

3 [📁]▶[本体+microSD]/[本体]/[microSD]

- ユーザーフォルダでは利用できません。

データのサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 データー一覧画面で[📁]

2 項目を選ぶ

- 表示切替：リスト/グリッド/プレビュー表示を切り替えます。
- フォルダー一覧/コンテンツ一覧：表示をフォルダー一覧/コンテンツ一覧に切り替えます。
- 画像編集：画像編集についてはP.63「画像の編集」
- 送信：選択したデータをメール添付や赤外線送信、Bluetooth送信、PASSNOWなどで送信できます。
 - PASSNOWでペア設定済みの場合は、[📧]を押してペア設定したタブレットに選択中の画像を送信できます。
- 移動・コピー：移動/コピーについてはP.63「データの移動/コピー」
- 1件削除：選択した1件のデータを削除します。
- 選択削除：選択したデータを削除します。
- ソート：保存されているデータの並び順を変更します。
- 画像を登録：壁紙や電話帳に画像を登録します。
- 登録：音楽データを着音などに登録します。
- メモリ使用状況：microSDカードと本体メモリの容量を表示します。
- 詳細情報：選択したデータの詳細情報を表示します。

[画像を登録] について

- 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

データの移動/コピー

本体メモリまたはmicroSDカードに保存したデータの保存場所を移動したり、コピーしたりできます。

1 データー一覧画面で[📁]

2 [移動・コピー]

3 [microSDへ移動]/[microSDへコピー]/[本体へ移動]/[本体へコピー]/[ユーザーフォルダへ移動]/[ユーザーフォルダへコピー]

4 移動/コピーするデータを選ぶ

- すべてのデータを選択：[📁]
- すべてのデータを選択解除：[🗑️]

5 [📁]

- ユーザーフォルダへ移動/コピーする場合は、移動/コピー先のフォルダを選択します。

ユーザーフォルダのサブメニュー操作

1 待受画面で◎▶[データ]▶[ユーザーフォルダ]▶[📁]

2 項目を選ぶ

- フォルダ名編集：フォルダ名を編集します。
- フォルダ作成：新規フォルダを作成します。
- フォルダ削除：フォルダを削除します。フォルダ内のデータも削除されます。

画像の編集

1 データー一覧画面で静止画を選ぶ▶[📁]

2 [画像編集]▶[📁]

3 項目を選ぶ

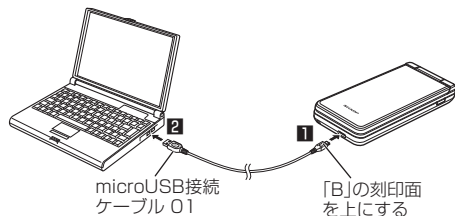
- トリミング：静止画を切り取ります。
- リサイズ：静止画のサイズを変更します。
- 回転：静止画を回転させます。
- 鏡：静止画を鏡に映したように上下左右に反転させます。
- エフェクト：静止画にモノクロや魚眼、ミニチュアなどの効果を与えます。
- 補正効果：静止画の明るさやシャープネスなどを補正します。
- 日付スタンプ：静止画に日付スタンプを追加します。
- 顔かくし：顔と認識された静止画に処理を施してかくします。

パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、microSDカードをパソコンの外部メモリとして利用したり、データ転送をしたりできます。

端末とパソコンの接続方法

- 1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む(1)
 - 2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む(2)
- USB接続のモードについてはP.60「USB接続」



- USBケーブルはmicroUSBケーブルをご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、microUSBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10（いずれも日本語版）です。

microSDリーダーライター

microSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用できます。

- あらかじめmicroSDカードを挿入し、USB接続のモードを「カードリーダーモード」に設定しておいてください（P.60「USB接続」）。

- 1 microUSBケーブルでパソコンに接続する
 - USBマスタートレイ画面が表示されます。表示されない場合は、待受画面で▶ステータスバーを選ぶ▶【USB接続】を選択してください。
- 2 【USBストレージをONにする】
 - 確認画面が表示された場合は内容を確認し、【OK】を選択してください。
- 3 microSDリーダーライターとして利用する
- 4 利用が終わったら、パソコンでハードウェアの安全な取り外しを行う
- 5 【USBストレージをOFFにする】
- 6 microUSBケーブルを端末とパソコンから取り外す

- microSDリーダーライターとして利用中は、アプリでmicroSDカードを利用できません。また、アプリでmicroSDカードを利用中は、microSDリーダーライターとして利用できない場合があります。

データ転送

パソコンから本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送することができます。

- あらかじめUSB接続のモードを【MTPモード】または【PTPモード】に設定しておいてください（P.60「USB接続」）。

- 1 端末をmicroUSBケーブルでパソコンに接続する
- 2 データを転送する
- 3 利用が終わったら、microUSBケーブルを端末とパソコンから取り外す

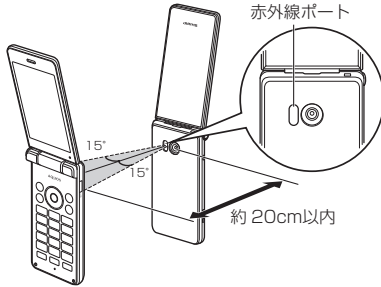
データ通信

赤外線通信

赤外線を利用して、携帯電話など他の機器とデータをやりとりできます。

赤外線送受信のご利用にあたって

- 本端末と相手側の機器を近づけ、双方の赤外線ポートが約20cm以内にまっすぐ向き合うようにしてください。



- 赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- 機内モード中は赤外線通信できません。
- 全件データの送受信には、認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかな布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。

赤外線送受信

データを1件受信

- 1 待受画面で◎▶[ツール]▶[赤外線]
- 2 [1件受信]
- 3 相手機器でデータ送信の操作を行う
- 4 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる▶
[OK]▶[OK]

データを全件受信

- 1 待受画面で◎▶[ツール]▶[赤外線]
- 2 [全件受信]
- 3 認証コードを入力▶☑
- 4 相手機器でデータ送信の操作を行う
- 5 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる▶
[OK]▶[OK]
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

- 受信操作が終わると、受信待ち状態になります。約60秒以内に送信側の端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。
- 全件受信時に[保存する]を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

データを選んで送信

■例：静止画のとき

- 1 待受画面で◎▶[データ]
- 2 静止画を選ぶ
- 3 ☑▶[送信]▶[赤外線送信]
- 4 相手機器でデータ受信の操作を行う
- 5 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる▶
[OK]▶[はい]

データを全件送信

■例：電話帳のとき

- 1 待受画面で☑
 - グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。
- 2 ☑▶[送信]▶[赤外線送信]
- 3 [全件送信]▶[送信する(画像付き)]/[送信する(画像なし)]
 - 連絡先に画像を設定していない場合は[はい]を選んでください。
- 4 暗証番号を入力
- 5 アカウントを選択
- 6 [OK]▶[はい]
- 7 相手機器でデータ受信の操作を行う
- 8 認証コードを入力▶☑
- 9 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる

Bluetooth®通信

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

仕様

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.4.1※1

■ 出力

Bluetooth標準規格 Power Class 1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）

HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）※3

HFP：Hands Free Profile（ハンズフリープロファイル）※4

A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）※5

AVRCP：Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル）※5

HID：Human Interface Device Profile（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル）※6

OPP：Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）※7

SPP：Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）※8

PBAP：Phone Book Access Profile（フォンプブックアクセスプロファイル）※9

PAN：Personal Area Networking Profile（パーソナルエリアネットワークプロファイル）※10

HOGP：HID Over GATT Profile（エイチアイディーオーバークットプロファイル）※11

- ※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※7 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※8 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※9 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※10 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。
- ※11 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、データの種別により音声が出力できない場合があります。

■ Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の立った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 電車内
 - 航空機内
 - 病院内
 - 自動ドアや火災報知機から近い場所
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。



Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Bluetooth]

2 [Bluetooth]

3 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- 他のBluetooth機器に表示／非表示：[SH-NO1]
 - ・表示のタイムアウトで設定した時間が経過すると、自動的に非表示になります。
- Bluetooth機器を検索：  ▶ [更新]
- ペア設定済みのBluetooth機器にカーソルを合わせて  を押し、相手のBluetooth機器の名前や使用目的を変更できます。

● 最大7台まで同時に接続できます。プロフィールによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。

- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- Bluetooth機能を [ON] にすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ他のBluetooth機器に表示されるよう設定しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください（取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています）。

Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 待受画面で ▶ 通知アイコン を選ぶ ▶ Bluetooth機器からの接続要求通知を選ぶ ▶ [ペア設定リクエスト] ▶ [ペア設定する]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は [ペア設定する] を選択してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器にカーソルを合わせる ▶ ▶

Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ ▶ [OK]

Bluetooth画面のサブメニュー操作

- Bluetooth機能を [ON] にしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で

2 項目を選ぶ

- 更新：Bluetooth機器を検索します。
- この端末の名前を変更：本端末の名称を変更します。
- Qualcomm® aptX™：Qualcomm aptX audioを利用するが設定します。
- 受信済みファイルを表示：Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。

Bluetooth通信送受信

データを送信

- 例：静止画のとき

1 待受画面で ▶ [データ]

2 静止画を選ぶ

3 ▶ [送信] ▶ [Bluetooth送信]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 接続するBluetooth機器を選ぶ

データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 待受画面で ▶ ステータスバーを選ぶ ▶ 着信通知を選ぶ ▶ [承諾]

3 待受画面で ▶ ステータスバーを選ぶ ▶ 受信通知を選ぶ ▶ 受信したデータを選ぶ

- 全件受信時に [削除して登録] を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

メニュー一覧

ノーマルメニュー一覧

- メニューに項目番号が表示されている場合、同じ番号のダイヤルキーを押すと、メニューを選択することができます。

メール

機能メニュー	ページ
SMS	P.37
PCメール	P.38

ブラウザ

機能メニュー	ページ
ホームページ	P.39
ブックマーク	P.40
URL入力・Web検索	P.40
履歴	P.40
ダウンロード	P.40
設定	P.40
使ってみよう～タッチクルーザーEXのススメ～	P.19

歩数計

- 歩数計についてはP.45「歩数計」

カメラ

機能メニュー	ページ
カメラ	P.42
ビデオカメラ	P.43
バーコードリーダー	P.44

データ

- データについてはP.63「ファイル操作」

アラーム

機能メニュー	ページ
アラーム	P.45
タイマー	P.46
ストップウォッチ	P.46
世界時計	P.46

電話機能

機能メニュー	ページ
電話帳	P.35
通話履歴	P.34
簡易留守録再生	P.34
通話設定	P.35
スピードダイヤル	P.31
かんたん発信（音声認識）	P.32

設定

機能メニュー	ページ	
壁紙・ディスプレイ	待受画面・壁紙	P.53
	画面の明るさ	P.53
	バックライト点灯時間	P.53
	文字サイズ・フォント	P.53
	のぞき見防止	P.53
	リラックス画質	P.53
音・バイブ	マナーモード設定	P.54
	音量	P.54
	着信音・お知らせ音	P.54
	全般 通知	P.54
セキュリティ	セキュリティキー設定	P.56
	画面のロック	P.54
	シークレット設定	P.55
	SIMカードロック設定	P.56
	提供元不明のアプリ 高度な設定	P.54 P.56
省エネ・電池	長エネスイッチ	P.56
	電池	P.56
Wi-Fi	P.28	
Bluetooth	P.66	
ネットワーク	機内モード	P.57
	データ通信設定	P.57
	ネットワーク設定	P.57
位置情報	P.58	
クイック起動キー	P.30	
その他	アプリケーション	P.59
	日付と時刻	P.59
	セルフチェック	P.59
	ストレージ	P.59
	言語（Language）を選択	P.59
	アカウント	P.59
	端末情報	P.60
	スクリーンセーバー	P.59
	ソフトキーボード	P.60
	ユーザー補助	P.60
オールリセット	P.60	

ツール

機能メニュー	ページ
カレンダー	P.47
メモ帳	P.47
電卓	P.47
PASSNOW	P.48
赤外線	P.65
データ引継	P.50
ウィジェットシート	P.51
タッチクルーザーEX操作ガイド	P.19

アプリ

機能メニュー	ページ
検索	—
ミュージック	P.51
家族あんしん通知	P.52

プロフィール

- プロフィールについてはP.18「プロフィール」

SHSHOW

- コンテンツのダウンロードや閲覧などできます。

シンプルメニュー一覧

電話機能

機能メニュー	ページ
電話帳	P.35
通話履歴	P.34
簡易留守録再生	P.34
自分の電話番号	P.18

メール

機能メニュー	ページ
SMS	P.37
PCメール	P.38

ブラウザ

機能メニュー	ページ
ホームページ	P.39
ブックマーク	P.40
URL入力・Web検索	P.40
閲覧履歴	P.40
使ってみよう～タッチクルーザーEXのスズメ～	P.19

カメラ

- カメラについてはP.41「カメラ」

便利ツール

機能メニュー	ページ
カレンダー	P.47
メモ帳	P.47
電卓	P.47
歩数計	P.45
赤外線	P.65
バーコードリーダー	P.44
タッチクルーザーEX操作ガイド	P.19
データ引継	P.50

アラーム

機能メニュー	ページ
アラーム	P.45
タイマー	P.46
ストップウォッチ	P.46
世界時計	P.46


機能メニュー	ページ	
壁紙・ディスプレイ	待受画面・壁紙	P.53
	画面の明るさ	P.53
	バックライト点灯時間	P.53
	文字サイズ・フォント	P.53
	のぞき見防止	P.53
音・バイブ	リラクセス画質	P.53
	マナーモード設定	P.54
	音量	P.54
	着信音・お知らせ音	P.54
セキュリティ	全般	P.54
	通知	P.54
	セキュリティキー設定	P.56
	画面のロック	P.54
	シークレット設定	P.55
	SIMカードロック設定	P.56
省エネ・電池	SIMカードロック設定	P.56
	提供元不明のアプリ	P.54
Wi-Fi	高度な設定	P.56
	長エネスイッチ	P.56
位置情報	電池	P.56
	Wi-Fiの設定	P.28
クイック起動キー	Wi-Fiの設定	P.28
	クイック起動キー	P.30

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな?と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.73「ソフトウェア更新」)。
端末のセルフチェックを行ってください(☞P.59「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」にご相談ください。

電源

- 本端末の電源が入らない
 - 電池パックが正しく取り付けられていますか。(☞P.22「電池パック」)
 - 電池切れになっていませんか。(☞P.22「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
 - を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
※強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

充電



- 充電ができない
 - 充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - 電池パックが正しく取り付けられていますか。(☞P.22「電池パック」)
 - 付属のACアダプターの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。(☞P.23「ACアダプターで充電」)
 - ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターと付属のmicroUSBケーブル、本端末または付属の卓上ホルダがしっかりと接続されていますか。(☞P.23「卓上ホルダで充電」、P.23「ACアダプターで充電」)
 - 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
 - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.22「充電時のご注意」)

端末操作

- アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)
 - 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。(☞P.59「アプリの有効」)
- 操作中・充電中に熱くなる
 - 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、ACアダプター、microUSBケーブルが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。(☞P.22「充電時のご注意」)
- 電池の使用時間が短い
 - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありません。圏外時は通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
 - 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。(☞P.74「主な仕様」)
 - 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。(☞P.23「電池パックの寿命」)

- 電源断・再起動が起きる
 - 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
 - nanoSIMカードのIC部分が汚れていませんか。
 - ☞ P.20 「nanoSIMカード」
- キーを押しても動作しない
 - 端末の電源が切れていませんか。
 - ☞ P.24 「電源を入れる」
- キーを押したときの画面の反応が遅い
 - 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
 - ☞ P.59 「ストレージ」
- nanoSIMカードが認識しない
 - nanoSIMカードを正しい向きで取り付けていますか。
 - ☞ P.20 「nanoSIMカード」
- 時計がずれる
 - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。【日時の自動設定】が有効になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。
 - ☞ P.59 「日付と時刻」
- 端末動作が不安定
 - ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - セーフモードの起動方法
 - 電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面で待受画面が表示されるまで \square を押し続けてください。
 - ※ 電源を入れた状態で \square （1秒以上）▶【電源を切る】にカーソルを合わせる▶ \odot （1秒以上）▶【OK】でも、セーフモードで再起動ができます。
 - また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。
 - ☞ P.59 「セルフチェック」
 - ※ セーフモードが起動すると画面左下に【セーフモード】と表示されます。
 - ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
 - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

通話

- キーを押しても発信できない
 - 発信制限の「発信先限定」を設定していませんか。
 - ☞ P.35 「発信制限」
 - 機内モードを設定していませんか。
 - ☞ P.57 「ネットワーク」
- 着信音が鳴らない
 - 音量の電話着信を【サイレント】に設定していませんか。
 - ☞ P.54 「音・バイプ」
 - マナーモード、機内モードを設定していませんか。
 - ☞ P.54 「マナーモード設定」、P.57 「ネットワーク」
 - 発信制限の【着信拒否】を設定していませんか。
 - ☞ P.35 「通話設定」
- 通話ができない（場所を移動しても【】の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
 - 電源を入れ直すか、電池パックまたはnanoSIMカードを入れ直してください。
 - ☞ P.20 「nanoSIMカード」、P.22 「電池パック」、P.24 「電源を入れる／切る」
 - 電波の性質により、【圏外ではない】「電波状態は【】を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
 - 着信拒否など着信制限を設定していませんか。
 - ☞ P.35 「着信拒否」
 - 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

画面

- ディスプレイが暗い
 - バックライト点灯時間を短く設定していませんか。
 - ☞ P.53 「壁紙・ディスプレイ」
 - 画面の明るさを変更していませんか。
 - ☞ P.53 「画面の明るさ」
 - 【のぞき見防止】を有効にしていますか。
 - ☞ P.53 「のぞき見防止」

音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - 音量の受話音量を変更していませんか。
 - ☞ P.54 「音・バイプ」

メール

- メールを自動で受信しない
 - メールのアカウントの設定で同期頻度を【自動確認しない】に設定していませんか。

カメラ

- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
 - 近くの被写体を撮影するときは、詳細設定のフォーカス設定を【接写AF】に切り替えてください。
 - ☞ P.43 「詳細設定」、☞ P.44 「詳細設定」
 - カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
 - ☞ P.41 「カメラをご利用になる前に」
 - 静止画撮影時に人物を撮影するときは詳細設定のフォーカス設定を【顔優先AF】に切り替えてください。
 - ☞ P.43 「詳細設定」
 - 静止画撮影時には詳細設定の手ぶれ軽減を【ON】に設定してください。
 - ☞ P.43 「詳細設定」

データ管理

- データ転送が行われない
 - ・ USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。[P.64「端末とパソコンの接続方法」]
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - ・ microSDカードを取り付け直してください。[P.61「microSDカード（外部ストレージ）」]
- 画像が正しく表示されない
 - ・ 画像データが壊れている場合は [P.] が表示されます。

Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない/検索しても見つからない
 - ・ Bluetooth通信対応機器（市販品）側を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。[P.67「Bluetooth機能の利用」]
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - ・ 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。[P.24「電源を入れる/切る」]

エラーメッセージ

- [USIMカードが挿入されていません-通信サービスはありません]
- nanoSIMカードが正しく取り付けられているかを確認ください。[P.20「nanoSIMカード」]
- [空き容量低下]
 - ・ 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動/削除を行ってください。
- [暗証番号を入力してください]
 - ・ 制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。暗証番号を入力すると、端末のロックが一時解除され、操作できます。
 - ・ 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。
- [緊急サービスがブロックされています。]
 - [音声サービスがブロックされています。]
 - [すべての音声サービスがブロックされています。]
 - ・ 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
- [データサービスがブロックされています。]
 - ・ パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。

保証とアフターサービス

保証について

保証書は本端末に付属されておりまして、

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間
お買い上げの日から1年間です（ただし電池、試供品、消耗部品は除きます）。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

● 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも異常があるときは、使用を止めて、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などを純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の以下の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
 - 使用箇所：受話口／スピーカー部、カメラ部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。


ソフトウェア更新

SH-N01のソフトウェア更新が必要な場合をネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

- ソフトウェア更新が必要な場合には、端末上あるいはシャープ株式会社社のホームページにてご案内いたします。

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新には大量のパケット通信が発生することがあります。Wi-Fi通信を利用できる場合は、Wi-Fi通信を利用して更新することをおすすめします。

ご利用にあたって

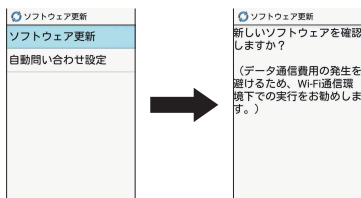
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
 - 通話中
 -  が表示されているとき
 - 機内モード中
 - 日付と時刻を正しく設定していないとき
 - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
 - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い場所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-N01固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、[ソフトウェア更新に失敗しました。]と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですが「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

ソフトウェアの更新

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]

- はじめてご利用される際には、「プライバシーポリシー」に同意いただく必要があります。

2 [ソフトウェア更新]▶◎



- ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新データをダウンロードすることができます。
- すぐに更新する場合は、「今すぐ更新」を選択し、画面の指示に従って操作してください。
- すぐに更新しない場合は、「後で更新」を選択するとアプリが終了し、ステータスバーに①が表示されます。ソフトウェア更新を行う場合は、待受画面で◎▶ステータスバーを選ぶ▶[ソフトウェア更新]を選択後、画面の指示に従って操作してください。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がわかり、待受画面が表示されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。待受画面で◎▶ステータスバーを選ぶ▶通知を選ぶと完了画面が表示されます。

ソフトウェアの自動問合わせ

ソフトウェア更新用データの有無を定期的に確認するか設定しません。

- お買い上げ時は、自動問合わせの設定が[自動問合わせする]に設定されています。

1 待受画面で◎▶[設定]▶[その他]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[自動問合わせ設定]

2 [はい]／[いいえ]

- [自動問合わせする]に設定している場合は、ソフトウェアの更新が必要になるとステータスバーに①が表示されません。待受画面で◎▶ステータスバーを選ぶ▶[ソフトウェア更新]を選択後、画面の指示に従って操作してください。

主な仕様

本体

品名	SH-N01
サイズ	高さ約113mm×幅約51mm×厚さ約16.7mm
質量	約131g (電池パック装着時)
メモリ	ROM: 8G/バイト RAM: 1G/バイト
連続通話時間 ※1 ※2 ※3	3G 約620分 VoLTE (音声通話) 約440分
連続待受時間 ※2 ※3	3G 静止時: 約700時間*4 LTE 静止時: 約610時間*4
充電時間	ACアダプター (付属): 約160分
ディスプレイ	方式 TFT 16,777,216色 サイズ 約3.4inch 画素数 518,400画素 (QHD: 横540ピクセル×縦960ピクセル)
撮像素子	種類: 裏面照射型CMOS*5 サイズ: 1/4.0inch
カメラ部	有効画素数: 約800万画素 記録画素数 (最大時): 約800万画素 ズーム (デジタル): 最大約8.0倍 (静止画) / 最大約8.0倍 (動画)
記録部	ファイル形式 静止画: JPEG 動画: MP4 (HD撮影時) / 3GP (VGA / QVGA撮影時) 動画録画時間 1件あたり最大約45分 (本体保存時) *6
保存容量	約3,99G/バイト*7
表示できるファイルの種類 (拡張子)	Microsoft Word (.doc)、Microsoft Excel (.xls)、Microsoft PowerPoint (.ppt)、Plain Text (.txt)
無線LAN	IEEE802.11b/g/n (2.4GHz) 準拠
Bluetooth	対応バージョン Bluetooth標準規格 Ver.4.1 出力 Bluetooth標準規格 Power Class 1 対応プロファイル (対応サービス/バージョン) HSP (1.2)、HFP (1.6)、A2DP (1.2)、AVRCP (1.3)、HID (1.0)、OPP (1.1)、SPP (1.1)、PBAP (1.0)、PAN (PANU) (1.0)、HOGP (1.0)
言語	表示言語: 日本語、英語 入力言語 (文字入力): 日本語、英語

※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※2 データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話 (通信)・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話 (通信) と待受の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。

- ※3 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話（通信）・待受時間が半分程度になったりする場合があります。
- ※4 端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※5 CMOS (complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体) とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※6 撮影サイズ：HD (1280×720) / ファイルサイズ制限：2GBバイト/種別：画像+音声
- ※7 メモリを共有するアプリの使用状況によって、各種データの保存容量は少なくなります。

電池パック

品名	電池パック
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.85 V
公称容量	1800 mAh

卓上ホルダ

品名	卓上ホルダ
入力	DC 5.0 V、1.8 A
出力	DC 5.0 V、1.8 A

ACアダプター

電源	AC100-240 V、50/60Hz 共用
出力電圧/出力電流	DC5.0 V/800 mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約50mm×約38mm×約25mm （電源プラグ、突起部除く）

microUSBケーブル

ケーブルの長さ	約1.0m
---------	-------

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SH-N01の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.819W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.555W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
 SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 この値は同時送信の値です。

※3 この値は同時送信の値です。

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますので控えてください。

商標について

- 内蔵音声認識エンジンは、株式会社アドバンスト・メディアの **AmiVoice**® を使用しています。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デジソフウェアの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびLC®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>) この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com) この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

- Portions Copyright © 2004 Intel Corporation この製品にはIntel Corporationのソフトウェアを一部利用しております。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved. iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2016 All Rights Reserved.
- Google、Google ロゴ、Android、Google 検索、Google 検索 ロゴは、Google Inc. の商標です。
- TM and © 2016 Apple Inc. All rights reserved. iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 「AQUOS/アコス」、 「AQUOS」 ロゴ、「SHSHOW」 ロゴ、「PASSNOW」、「タッチルージャーEX」、「エスショイン/S-Shoin」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されています。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておられません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro、Enterprise、Education) の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で◎▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [法的情報] ▶ [オープンソースライセンス] をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

あ

アカウント	59
アカウントを追加	39
空き容量確認	35
アクセスポイントの初期化	28
アクセスポイントの設定	27
アプリケーション	59
アプリ使用履歴の利用	29
アプリの通知	54
アラーム	45
暗証番号	56
安全上のご注意 (必ずお守りください)	3
安全な認証情報の使用	56
一時解除の設定	55
位置情報	
位置情報	58
引用・連携	26
インフォメーションの利用	16
引用・連携	26
ウィジェットシート	51
ウェブサイト	36
ウェブブラウザ	39
受取確認通知	37
エニーキーアンサー	35
エフェクト	63
応答時間設定	35
応答メッセージ設定	35
大きい文字サイズ	60
オートアンサー	35
オープン時動作	35
オールリセット	60
お気に入りの利用	30
お知らせアイコン	17
音・バイブ	54
おまかせ	
静止画撮影の設定	42
動画撮影の設定	44
主な仕様	74
音楽	63
音声認識の使い方	32
音声メモリスト	34
音量	54

か

カーソルの合わせかた	15
カードリーダーモード	60
カーネルバージョン	60
開始	50
回転	63
顔かくし	63
顔文字リセット	25
鏡	63
学習辞書リセット	25
各種リセット	25
各部の名称と機能	14
画像	63
画像の読み込み	40
画像編集	63
画像を登録	63
家族あんしん通知	52
壁紙	53
壁紙・ディスプレイ	53
カメラ	
カメラ	41

静止画撮影の設定	42
カメラの撮影サイズ	41
カメラへ切替	44
カメラをご使用になる前に	41
カメラを使用中の動作について	41
画面の明るさ	53
画面の固定	56
画面のロック	54
画面ロック中の表示	54
画面ロックの音	54
カレンダーについて	47
カレンダー表示	53
簡易留守録・音声メモ	34
簡易留守録設定	
簡易留守録・音声メモ	35
通話設定	35
簡易留守録リスト	34
かんたん発信 (音声認識) で電話をかける	32
かんたん発信設定	32
キー操作音	54
キー操作ヘルプ	44
キーバックライト	54
機内モード	57
基本操作	15
休日設定	47
今日へ移動	47
魚眼レンズ	42
切替条件設定	56
緊急通報	32
銀残し	42
クイックオープンボタン	15
クイック起動キー	
クイック起動キーの利用	30
待受・壁紙	53
クイックサイレント	35
クイック返信	35
区点コード	26
グループ設定	35
グループの利用	36
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について	75
結果画面閲覧	50
言語 (Language) を選択	59
現在のキーボード	60
検索	
カレンダー	47
ミュージック	52
公衆電話	35
更新	
Bluetooth	67
カレンダー	47
高度な設定	
セキュリティ	54
ブラウザ	40
項目の選択	15
国際発信設定	35
この端末の名前を変更	67
コピー他 (範囲選択)	24
コピー履歴	26
コンテンツ一覧	63

さ

再起動	24
再生	52
サイト閲覧履歴の利用	40
サイトマナーキー長押し	54

サイレントマナー	54	セルフタイマー	
削除	52	静止画撮影の設定	43
サブアドレス設定	35	動画撮影の設定	44
シークレット設定	55	セルフチェック	59
時刻設定	59	全般	54
辞書	25	全般設定	
自動位置情報付加		カレンダー	47
静止画撮影の設定	42	メール	39
動画撮影の設定	44	操作ガイドダンス	16
自動大文字変換	25	操作時パイプ	54
自動カーソル移動	25	送信	63
自動スペース入力	25	送信先	52
字幕	60	送信時刻	52
写真		送信時文字コード設定	60
電話帳	35	ソート	63
ファイル操作	63	その他	59
シャッターモード	43	ソフトウェア更新	73
住所	35	ソフトウェアキーボード	59
充電	22		
充電開始音	54	た	
従来の携帯電話から	50	タイマー	46
受信済みファイルを表示	67	タイムゾーンの自動設定	59
省エネ・電池	56	タイムゾーンの選択	59
詳細情報	63	ダウンロード辞書	25
詳細設定		ダウンロード履歴の表示	40
静止画撮影の設定	43	卓上ホルダで充電	23
長エネスイッチ	56	タッチエリア	19
動画撮影の設定	44	タッチクルーザーEXの利用	19
情報更新	59	誕生日	35
証明書のインストール	28	端末情報	60
証明書をインストール	56	端末とパソコンの接続方法	64
使用履歴へのアクセス	56	端末の暗号化	56
初期設定	27	端末の状態	60
所属	35	端末開いた回数	52
書類	63	チェックボックス	18
新規作成	47	知的財産権について	76
人物		着信音	37
静止画撮影の設定	42	着信音・お知らせ音	54
動画撮影の設定	44	着信音設定	35
シンプルメニュー	16	着信音に設定	52
シンプルメニュー一覧	69	着信拒否	35
スキャンを常に実行する	28	着信／充電ランプ	18
スクリーンショットの撮影	18	着信履歴	34
スクリーンセーバー	59	着信履歴の削除	34
ステータスアイコン	17	長エネスイッチ	56
ステータスバー	17	長エネスイッチの概要	56
ステータスパネルの利用	18	ちらつき防止	
ストップウォッチ	46	静止画撮影の設定	43
ストレージ	59	動画撮影の設定	44
ストレージのタイプ	56	通常マナー	54
スピードダイヤルで電話をかける	31	通知	37
すべて再生	52	通知アイコン	
すべてシャッフル	52	フォーカスモード	17
スマートフォンから	50	待受画面・壁紙	53
スレッドの削除	37	通知不可能	35
静止画撮影画面の見かた	42	通知へのアクセス	54
静止画撮影の設定	42	通知連携 (PASSNOW)	60
静止画の撮影	42	通話時間	52
世界時計	46	通話中の操作	33
赤外線送受信	65	通話モード設定	35
赤外線送受信のご利用にあたって	65	使い方ガイド	55
赤外線通信	65	つながり予測	25
セキュリティ	54	提供元不明のアプリ	54
セキュリティキー設定	56	定型文入力	
設定	47	引用・連携	26
設定の切替	18	定型文入力	26
設定メニュー	53	データ使用量	57
設定リセット	25	データ通信制限	57
セビア	42		

データ通信設定	57
データ転送	64
データの移動／コピー	63
データのサブメニュー操作	63
データ引継	50
データフォルダからデータの送信	48
データ保存	50
データ保存先の表示変更	63
データローミング	58
テキスト	42
テキストメッセージの制限件数	37
テキスト読み上げの出力	
文字入力	60
ユーザー補助	60
テザリング	29
デバイス管理機能	56
デフォルトのSMS	57
手ぶれ軽減	43
電源を入れる	24
電源を切る	24
電卓	47
電池	56
電池残量	52
電池残量で切替	56
電池バック	22
電話	31
電話帳	
引用・連携	26
電話帳	35
電話帳画像保存	50
電話帳名前データと連携	25
電話帳の確認／利用	36
電話帳の削除	36
電話帳の登録	35
電話帳未登録番号	35
電話発信回数	52
電話番号	35
電話番号指定	35
電話を受ける	33
電話をかける	31
動画撮影画面の見かた	43
動画撮影の設定	44
動画の撮影	43
当日予定リスト	47
登録	63
時計表示	53
ドライブマナー	54
トラブルシューティング (FAQ)	70
取り扱い上のご注意	8
取り込み前の準備方法	50
トリミング	63

な

名前	35
日時の自動設定	59
ニックネーム	35
入力設定	25
入力補助・変換	25
認識対象の登録 (スピードダイヤル)	32
認証	60
認証ストレージの消去	56
ネット変換エンジン	25
ネットワーク	57
ネットワーク設定	57
ネットワークの通知	28
ノーマルメニュー	16
ノーマルメニュー一覧	68
のぞき見防止	53

は

バーコードリーダー	
カメラ	44
文字入力	26
バイブレーション	37
パスワード	56
パスワードの音声出力	60
パソコンとの接続	64
バックライト点灯時間	53
発信先限定	35
発信履歴	34
発信履歴の削除	34
発信信制限	35
発信信・通話設定	35
パノラマ	42
貼り付け	24
貼り付け (履歴)	24
ハンドオーバー	28
微速度撮影間隔	44
非通知着信	35
日付スタンプ	63
日付設定	59
日付と時刻	59
ビデオへ切替	42
表示切替	63
表示するカレンダー	47
表示中のサイトやブックマークしたサイトをペア設定した タブレットに表示	48
表示パターン	53
標準	
静止画撮影の設定	42
動画撮影の設定	44
ビルド番号	60
ファイル操作	63
ファイル保存先	40
風景	42
風景 (自然)	44
フォーカス設定	
静止画撮影の設定	43
動画撮影の設定	44
フォーカスモードの利用	16
フォルダー一覧	63
フォルダ削除	63
フォルダ作成	63
フォルダ名編集	63
不在着信表示	33
ブックマーク	40
ブッシュ信号の入力	31
プライバシーとセキュリティ	40
プライバシーポリシー	39
ブラウザ起動	39
ブラウザ設定	40
古いメッセージを削除	37
プレイリスト内削除	52
プレイリストに追加	52
プレイリストの管理	52
プレイリスト保存	52
プレフィックス設定	35
プロキシ設定	57
プロフィール	
引用・連携	26
プロフィール	18
ペア設定	48
ペア設定したiPadの通知を本端末に表示	49
ペア設定したタブレットからSMSを送信	49
ペア設定したタブレットから受信した電話番号へ発信	48
ペア設定したタブレットで本端末の写真／動画を取り込む	50

ペア設定したタブレットの着信・通知を本端末に表示	49
ペア設定した本端末やタブレットを鳴動させて探す	49
ページを共有	48
ベースバンドバージョン	60
ヘルプ	42
編集キャンセル	25
ポインタの速度	60
防水／防塵／耐衝撃性能	11
法的情報	60
ホームページを設定	40
保証とアフターサービス	72
歩数	52
歩数計	
歩数計	45
待受画面・壁紙	53
補正効果	63
保存先設定	
静止画撮影の設定	43
動画撮影の設定	44
保存ファイルの整理	50
ホワイトバランス	
静止画撮影の設定	43
動画撮影の設定	44
本体	47
本体メモリ（内部ストレージ）	61
本端末で利用する暗証番号	55
本端末のご利用について	2
本端末の着信・通知をペア設定したタブレットに表示	49
本端末の持ちかた	41

ま

マイク	44
待受画面・壁紙	53
待受画面の見かた	16
マナーモード設定	
OFF	54
音・バイブ	54
ミニチュア効果	42
見栄え補正	53
ミュージック	51
メール	35
メールいきなり予測	25
メッセージ	37
メッセージの削除	37
メッセージの設定	37
メッセージの転送	37
メッセージの表示	37
メッセージの返信	37
メニュー一覧	68
メニューの操作	16
メモ	36
メモの確認	47
メモの登録	47
メモリ使用状況	63
モード	58
モード切替	
静止画撮影の設定	42
動画撮影の設定	44
目次	1
文字サイズ・フォント	53
文字種変更	24
文字入力	24
文字入力のサブメニュー操作	24
文字入力のしかた	25
文字入力のしくみ	24
文字入力の設定	25
モデル番号	60
モノクロ	42

モバイルネットワーク	58
------------	----

や

夜景	42
夜景人物	42
ユーザー辞書	25
ユーザー辞書登録（日）	24
ユーザーフォルダ	63
ユーザー補助	
ウェブブラウザ	40
その他	60
輸出管理規制	76
予測変換	25
予定を作成	47

ら

リサイズ	63
料理	42
リラックス画質	53
連写撮影	42
連写種類	42
連絡先シークレット設定	55

わ

ワイルドカード予測	
文字入力の設定	25
ワイルドカード予測での入力方法	26

英数字

ACアダプターで充電	23
Bluetooth機能の利用	67
Bluetooth通信	66
Bluetooth通信送受信	67
Bluetoothテザリング	29
Google検索	26
GPS機能の利用	58
GPS情報	35
HDR	42
IPアドレス	28
ISO感度	43
JANコードとは	44
KeyTranslator	60
MACアドレス	28
microSDカード（外部ストレージ）	61
microSD内データを消去	59
microSDの暗号化	59
microSDの暗号化解除	59
microSDのマウント解除	59
microSDリーダーライター	64
microSDをマウント	59
microUSB接続ケーブル 01で充電	24
MTPモード	60
nanoSIMカード	20
OFF	54
OSセキュリティパッチ	60
OSバージョン	60
PASSNOW	48
PINロックの解除	56
PTPモード	60
QRコードとは	44
Qualcomm® aptX™	67
SIM PINの変更	56
SIMカードのメッセージ	37
SIMカードロック設定	56

SIMカードをロック	56
SMS	37
SMSアプリの変更	37
S-Shoin	60
USB接続	60
VPN	57
Wi-Fi Direct	28
Wi-Fiテザリング	29
Wi-Fiテザリングを設定	29
Wi-Fiのスリープ設定	28
Wi-Fiの設定	28
4Gを利用する	58
24時間表示	59



危険です、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電



Li-ion00

製造元 シャープ株式会社

(第2版)